2025

KANSAI UNIVERSITY PRESS

関西大学出版部
図書目録

目　次

2024年度刊行分 新刊案内 2

関西大学出版部出版図書 6

哲学・心理学・宗教 6
歴史・地理 7
社会科学 ── 社会科学総記 9
── 政　治 10
── 法　律 11
── 経済・経営 13
── 社　会 15
── 教　育 17
自然科学 19
工学・工業 20
芸術・生活 21
語　学 23
文　学 25

関西大学東西学術研究所出版図書 28

関西大学経済・政治研究所出版図書 34

電子書籍一覧 36

著訳編者名索引 38

書名索引 41

電子のみ ……電子書籍のみ　紙のみ ……紙書籍のみ

※アイコンのない書籍は紙・電子どちらも対応

2024年度刊行分
新刊案内

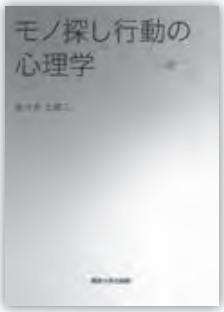
「東洋道徳、西洋芸術」幕末日本への視座
―佐久間象山の儒学思想に関する研究―

紙のみ

韓 淑婷 著

A5上製 360頁 定価 3,410円（本体 3,100円＋税） ISBN 978-4-87354-798-5 C3010 (2025.3) Ⓚ

日本の近代化への一つの指針を示した、佐久間象山の「東洋道徳、西洋芸術」思想。この思想はいかにして形成されたのか、またその内実と特質はどのようなものであるのか。本書はこれまでの近代化論の枠を超え、儒学の「礼楽」という新たな視点から「東洋道徳、西洋芸術」思想を解明し、斬新な幕末思想史研究を構築する。



モノ探し行動の心理学

佐々木 土師二 著

A5 146頁 定価 1,540円（本体 1,400円＋税） ISBN 978-4-87354-791-6 C3011 (2025.1) Ⓚ

日常的な「さがしもの」の具体的行為を主体的探索と呪術（占い、まじない）利用の両面で総覧し、体系的な整理により進行状況を４段階で把握して、その機能的特徴を問題解決過程とした。関連する状況要因には実態的側面と心理的側面があり、その関係には探し手の認知が影響する。モノ探し行動は消費者行動の枠組みで理解される。

近世ベトナムの地方支配と北部山地

吉川 和希 著

A5 388頁 定価 5,170円（本体 4,700円＋税） ISBN 978-4-87354-792-3 C3022 (2025.2) Ⓚ

近年、西南中国から東南アジア大陸部に及ぶインドシナ半島北部山地の現地住民の独特な行動原理や生存戦略が注目を浴びている。このような最新の研究動向を踏まえ、未公刊の新史料の分析を通じて、これまで研究がほぼ皆無だった18～19世紀のベトナム北部山地における王朝権力の支配の変遷や現地住民の動向を描き出した画期的な一冊。

合衆国労働運動史 1

紙のみ

フィリップ・S・フォーナー 著／伊藤 健市 訳

菊判 500頁 定価 4,620円（本体 4,200円＋税） ISBN 978-4-87354-793-0 C3022 (2025.3) Ⓚ

アメリカ史の全体的な流れを背景に、労働運動がアメリカの社会構造の伸展や、その逆に、経済的・政治的・社会的な出来事が労働運動の発展に及ぼした影響を分析した著作。労働運動の興隆を、労働者の闘争的なストライキ、労働者の独自の政治活動、社会主義運動の成長とその影響から解明しようとする壮大な試みでもある。

災害情報学の挑戦
―無限の可能性を拓く―

近藤 誠司　著

A5上製 220頁　定価 3,630円（本体 3,300円＋税） ISBN 978-4-87354-790-9 C3030　(2024.12) Ⓚ

災害が頻発する困難な時代にあって、“いのちを輝かせるために”という防災哲学に根差した、堅牢な「災害情報学」を確立することが求められている。本書では、情報のありかたをリアリティの水準から捉え直し、インフォメーションをコミュニケーションの位相から再構築する。理論と実践を結晶させるあくなき挑戦がここに。

思想家鶴見俊輔とその時代

土倉 莞爾　著

A5 284頁　定価 3,520円（本体 3,200円＋税） ISBN 978-4-87354-794-7 C3031　(2025.3) Ⓚ

戦後日本の傑出した思想家鶴見俊輔の思想と行動を、「非暴力直接行動と鶴見俊輔」、「鶴見俊輔の『方法としてのアナキズム』」、「鶴見俊輔：ひとりの保守主義者」、「戦後思想史における『思想の科学』」、「共同研究　転向」をテーマに詳細に論述。鶴見俊輔著『日本思想の道しるべ』（中央公論新社、2022年）書評を付する。

いじめ防止対策推進法の重大事態の研究

永田 憲史　著

A5 240頁　定価 2,530円（本体 2,300円＋税） ISBN 978-4-87354-784-8 C3032　(2024.9) Ⓚ

「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の改訂が議論される中、「いじめと法」を専門とする研究者が、いじめの重大事態の調査が抱える課題を分析したうえで、調査の本来あるべき「現在」を実現するための方策として、いじめ防止対策推進法の改正を具体的に提案する。学校・教育委員会・いじめに関わる専門職必読の書。

南フランスの文化・地域社会と産業
―太陽と健康のテロワール―

亀井 克之　著

四六判 210頁　定価 2,970円（本体 2,700円＋税） ISBN 978-4-87354-799-2 C3034　(2025.3) Ⓚ

南フランスの知られざる文化・地域社会・産業を、50回の探訪で見聞・体験したことで綴った随筆集。手作り動画・写真集とYouTube・ブログで連動。おなじみのことから、筆者ならではのリュベロン小村、最古の映画館エデン、マルセイユ－カシ20Kマラソン、現地校通学体験、ギガルやドマス・ガサックなどの南仏ワインまで、幅広く紹介する。

昭和・平成・令和の大学生
―大学生調査35年から見る価値観の変化―

片桐 新自　著

A5 344頁　定価 2,530円（本体 2,300円＋税） ISBN 978-4-87354-785-5 C3036　(2024.9) Ⓙ

まだ昭和の時代だった1987年から平成を越え令和まで、35年間５年おきに８回の「大学生の価値観」を調査してきた貴重な社会学研究の集大成。時代の影響を受け、同じ「大学生」でもその価値観は大きく変わってきたことを、大きく３つの世代に分けて端的に指摘する。大学生を通して見る日本社会論として読むことができる価値ある一冊。

第37回ミュージック・ペンクラブ音楽賞《ポピュラー》著作出版物賞受賞

ジャズとダンスのニッポン

永井 良和 著

B5 276頁 定価 3,300円 (本体 3,000円＋税) ISBN 978-4-87354-788-6 C3036 (2024.12) Ⓚ

大正時代から昭和戦前期のモダニズム文化のなかで、ジャズとダンスは西洋化の動きとしてとらえられてきたが、そこに欧米文化を日本化する試みを読みとることもできる。20世紀前半に東アジアにひろがった「タクシー・ダンスホール」に注目し、文学、映画、建築、美術、ファッションにも論及。多くの図版とともに解説する。

自然環境医学
—地球の総合医をめざして—

中嶋 悟 著

A5 262頁 定価 2,200円 (本体 2,000円＋税) ISBN 978-4-87354-786-2 C3040 (2024.9) Ⓚ

地球の自然環境の起源・進化としくみを概観し、人間の健康状態と病気にあたる自然環境の現状と災害や汚染などを、火山、地震、土砂、気象、大気、水、土・岩石、都市環境などで具体的に俯瞰する。そして、「自然環境の聴診器」の開発と、自然環境の診断と推移予測手法を紹介し、「自然環境医学」という新しい分野を提案する。

無生物主語他動詞文の日中対照研究
—大規模均衡コーパスと多変量解析を用いた新たなアプローチ—

麻 子軒 著

A5 214頁 定価 2,090円 (本体 1,900円＋税) ISBN 978-4-87354-787-9 C3080 (2024.11) Ⓚ

日本語と中国語における無生物主語他動詞文に焦点を当て、新たな視点と方法論を用いてその成立要因を分析する研究。大規模コーパスにもとづく実証的な記述方法と、多変量解析を中心とする計量的な分析方法を駆使し、内省では気づきにくい両言語間の違いなどを明らかにし、対照研究に新たな可能性を提示する価値のある一冊。

恭仁京と万葉歌

村田 右富実 著

A5上製 320頁 定価 3,410円 (本体 3,100円＋税) ISBN 978-4-87354-789-3 C3095 (2025.1) Ⓚ

奈良時代、平城京、恭仁京、紫香楽宮、難波宮を転々とした時期があった。『万葉集』にはこの時代の歌が約90首残っている。本書は、それらの万葉歌を、緻密な表現分析と歴史学の成果により、その時代に定位する。これまで恭仁京時代の万葉歌について正面から論じた書はほとんどない。今後の万葉研究における必読の書である。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-13

家礼文献集成　日本篇 十三

紙のみ

吾妻 重二 編著

B5上製 272頁 定価 5,940円 (本体 5,400円＋税) ISBN 978-4-87354-795-4 C3014 (2025.3)

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第13冊。近世後期の尾張藩儒・中村習斎の『家礼講義』（道学資講本）を影印する。山崎闇斎に始まる崎門派の『朱子家礼』研究の掉尾を飾る集大成的著作。文献の博捜と引用の正確さに特色がある。『家礼文献集成　日本篇』シリーズの最終回配本。解説のほか、本シリーズ全13冊収載全文献一覧を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊29-4-1

紙のみ

藤澤南岳日記 一
―泊園書院資料集成 四－一―

吾妻 重二 編著

B5上製 376頁 定価 8,910円（本体 8,100円＋税） ISBN 978-4-87354-797-8 C3095 (2025.3)

明治大正期における関西文壇の中心にして学問所「泊園書院」の主宰者である藤澤南岳（1842-1920）の日記。その45年におよぶ漢文日記の全文を初めて公開する。自筆本の影印とともに翻刻を載せる。明治大正文化史・関西文芸史・日本漢学史の諸相を語る第一級の資料。第１回配本は明治８（1875）年から明治13（1880）年までを収める。

関西大学経済・政治研究所研究双書第184冊

紙のみ

関西経済とアジア
―歴史的視座からの考察―

西村 雄志 岩橋 勝 木山 実 西村 成弘 石川 亮太 北波 道子 著

A5上製 200頁 定価 4,070円（本体 3,700円＋税） ISBN 978-4-87354-796-1 C3033 (2025.3)

近世から近代への移行期から戦後までの関西経済の発展とアジアとの関係を多角的に捉える。明治初年における関西経済の位置づけ、住友商事の成立過程への人事面からの接近、近代朝鮮の海藻貿易における大阪の役割などの事例研究を踏まえ、近代関西経済の発展をアジアとの関係という歴史的視座から実証的に分析を試みる。

哲学・心理学・宗教

存在・感情・政治
―スピノザへの政治心理学的接近―

河村 厚 著
A5上製 424頁 定価 4,070円（本体 3,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-556-1 C3010 (2013.3) Ⓚ
紙のみ

スピノザの倫理学と政治学を、コナトゥスと「感情の模倣」を中心的基軸に据えて現実主義（リアリズム）の観点から考察。スピノザを、喜び、肯定、マルチチュードの哲学として評価する1960年代以降のひとつの潮流とは一線を画した解釈を提示。附論でディープエコロジーやコールバーグの道徳性発達理論とスピノザの関係について考察。

スピノザとフロイト
―「不信仰の同志」の政治思想―

河村 厚 著
A5上製 626頁 定価 6,600円（本体 6,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-750-3 C3010 (2022.3) Ⓚ

フロイトを中心にハイネ、ネグリ、シュトラウスという時代も思想も異なる４人の思想家達がスピノザから受けた影響および、彼らがスピノザ哲学をどのように解釈したかという問題を、それぞれのテクストの厳密な読解を通じて解明する。本書全体の通奏低音は、超越的なものなしに、よき倫理と政治が可能かというものである。

落着と実在
―リアリティの創出点―

山本 幾生 著
四六判上製 448頁 定価 4,180円（本体 3,800円＋税）
ISBN 978-4-87354-668-1 C3010 (2018.2) Ⓚ

20世紀前半のドイツ・ナチ政権のもとで廃棄処分となったミッシュの『生の哲学と現象学』によるハイデガー批判を読解しながら、フッサールからハイデガーへの現象学に対してディルタイからジンメルを介したミッシュへの生の哲学を〈流れの中に線を引く解釈学〉として掘起し、現実が落着する生のリアリティの創出点へ至る。

縄文鼻曲がり仮面
―異形をめぐる顔学 人の顔または表情の識別について・補遺―

池田 進 著
B5 180頁 定価 5,610円（本体 5,100円＋税）
ISBN 978-4-87354-749-7 C3011 (2022.3) Ⓚ
紙のみ

顔かたちを変形したり装飾したりする日本古来の文化遺跡がいくつもある。本書はそのうちの３題を取り上げた。その１は縄文時代の鼻曲がり型土製仮面、その２は歌舞伎の隈取、その３は京都の町屋に見る小屋根を飾る鍾馗像である。その様々を直接に観察して、視覚心理学的な考察をおこなった。鍾馗は全画像を一覧に総集した。

古新聖經殘稿　外二種
北堂本與滿漢合璧本

内田 慶市　李奭學 編
B5上製 364頁 定価 5,500円（本体 5,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-686-5 C3014 (2018.12) Ⓣ
紙のみ

幻の漢訳聖書といわれた『古新聖経』の中でも特に重要な版本である北堂版とサンクト・ペテルブル版の二種を世界で初めて影印し翻字と解題を付した。漢訳聖書研究に極めて有益な資料であり、翻訳論あるいは近代中国語の形成を見る上でも貴重なものであり、漢訳聖書研究はこれによって新たな高みに向かうことになる。

意味論の内と外
―アクィナス 言語分析 メレオロジー―

加藤 雅人 著
A5上製 276頁 定価 2,860円（本体 2,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-690-2 C3010 (2019.3) Ⓚ

アクィナスのエッセについて、従来の存在論的解釈に対して、論理学や言語分析の概念を用いた意味論的二区分という視点からの再解釈（第一章～第四章、第十章）。中世のメレオロジー（全体-部分という概念枠）についての本邦初の論考（第五章と第六章）。アクィナスの個体論、魂論についての論考（第七章～第九章）。

詩と哲学のあわい
―宗教哲学・比較思想論攷―

井上 克人 著
A5上製 514頁 定価 6,270円（本体 5,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-756-5 C3010 (2023.1) Ⓚ

詩作と哲学的思索にはともに語りえざるものを語ろうとする営みがある。本書はそれを踏まえながら、宗教哲学と比較思想の視点に立って、日本文化の深層を探り、大燈国師・西田幾多郎・鈴木大拙に見る禅の本質に迫り、徳川期古学派の古典理解をドイツ解釈学に照らし合わせ、内藤湖南の歴史認識に見る哲学的傾向をも指摘する。

歴史・地理

東洋汽船と映画

松浦 章　笹川 慶子　著
A5 450頁　定価 3,410円 (本体 3,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-641-4 C3021　(2016.9) Ⓚ
紙のみ

東洋汽船会社は浅野総一郎が創業したアジアを代表する汽船会社のひとつである。その東洋汽船が渋澤榮一らの貴賓会や大隈内閣の外客誘致政策の影響下に東洋フィルム会社を設立、それが後に谷崎潤一郎らを迎えた大正活映に発展する。製作配給興行における東洋汽船の新しすぎる試みは、亀裂を生みつつ、新たな地平を切り開く。

なにわの事もゆめの又ゆめ
―大坂城・豊臣秀吉・大坂の陣・真田幸村―

北川 央　著
四六判 180頁　定価 1,540円 (本体 1,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-643-8 C3021　(2016.11) Ⓙ
紙のみ

豊臣秀吉が天下統一の拠点として築き、大坂夏の陣で落城した大坂城。本書は、本願寺八世蓮如の大坂御坊建立に始まる大坂城の歴史、今も残る大坂城の石垣や櫓・門などの古建造物の魅力、秀頼時代の豊臣家の実像と大坂の陣勃発の経緯、大坂の陣における真田幸村の活躍ぶりを、最新の研究成果に基づき、わかりやすく紹介する。

関西大学と大正ロマンの世界
―「夢の顔たち」の人脈ヒストリア―

浜本 隆志　著
四六判 264頁　定価 1,760円 (本体 1,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-661-2 C3021　(2017.9) Ⓚ
紙のみ

関西大学の130年の歴史を振り返ってみると、それは一種の壮大なドラマであった。本書では千里山移転や「大学昇格」を成し遂げた大正ロマンの時代を中心に据えながら、大学を築いた先人たちの人脈相関図を詩情豊かに再現してみた。多くの知られざるエピソードを交え、興味深く読んでもらえる「関西大学物語」である。

飛鳥藤原京の山河意匠
―地形幾何学の視点―

木庭 元晴　著
B5 248頁　定価 3,960円 (本体 3,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-677-3 C3021　(2018.3) Ⓚ
紙のみ

飛鳥時代の仏塔や天文台そして藤原宮は、推古期に設置された天の北極（真北）軸や大和三山の太極（垂心）に精緻に配置されていた。隣接する飛鳥川と高取川の付け替えは斉明期に施行された。記紀やこれまでの研究では全く触れられてこなかった歴史的事実を精緻な地形情報と考古遺跡の分布からはじめて明らかにした。

越境の野球史
―日米スポーツ交流とハワイ日系二世―

森 仁志　著
四六判 296頁　定価 2,090円 (本体 1,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-679-7 C0021　(2018.7) Ⓚ
紙のみ

ハワイの日系人最強チーム「朝日」の選手たちが、日米の架け橋になってプロ野球の誕生から発展期にはたした役割を描く。「朝日」出身の若林忠志、銭村健一郎、ウォーリー与那嶺……太平洋を渡る野球人たちのグローバルな生き方を活写。ハワイ（布哇）を基点に「日米」野球交流の歴史を「日布米」交流史として書き換える。

もう一つの内藤湖南像
―関西大学内藤文庫探索二十年―

陶 徳民　著
B5 412頁　定価 4,400円 (本体 4,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-728-2 C3021　(2021.3) Ⓚ
紙のみ

内藤湖南の学問的・政治的営みと特徴について、「『欧西と神理相似たる』日中の学問方法論発掘と顕彰」、「東洋『美術』の精粋たる書画への嗜好と推賞」および「アジアをめぐる欧米列強との競合と西洋文明を模倣した近代日本への反省」という三方面から解明。180余点の写真でその生涯事蹟を再現、関連の人物小伝と書物の序跋も付録。

19世紀スペインにおける連邦主義と歴史認識
―フランシスコ・ピ・イ・マルガルの生涯とその思想―

菊池 信彦　著
A5上製 248頁　定価 4,510円 (本体 4,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-745-9 C3022　(2022.1) Ⓚ

「アナーキズムの父」プルードンの思想的影響を受け、スペイン第一共和政期（1873年）には大統領として連邦共和制を宣言したフランシスコ・ピ・イ・マルガルの連邦主義思想を、生涯にわたる歴史家としての活動とともに論じた意欲作。彼の連邦主義思想を支えた多元的国民史認識という、もうひとつの近代国民史認識を描き出す。

スイス観光業の近現代
──大衆化をめぐる葛藤 ──

森本 慶太　著
A5上製 184頁　定価 3,080円 (本体 2,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-758-9 C3022　　(2023.2) Ⓚ

19世紀スイスではアルプスを中心に観光業が発達した。しかし、20世紀前半には世界大戦、世界恐慌、それに隣国の保護主義からの移動制限により、観光業は危機的状況に陥った。時代の変化に対応するべく観光業界は結集し、大衆化を軸に新たな観光形態を模索する。このスイス観光業の近現代史は、混迷の中にある観光業界に示唆を与えるだろう。

社会科学総記

辰巳経世著作集

鰺坂 真　編
A5 366頁　定価 2,310円 (本体 2,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-682-7 C3030　(2019.1) Ⓚ

関西大学を卒業後、治安維持法違反による検挙にも屈せず、病身を押して奴隷制度の研究、日本ファシズムへの警告、日本で最初に『資本論』全巻の解説書等を著した辰巳経世。のちに未発表の原稿が発見され、「戦前の出版物を保存する会」によって上梓された。本書は、辰巳経世が残した渾身の力作をまとめた著作集である。

Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective
—A Study of The Pre-War Japanese Consular Reports—

北川 勝彦　著　※全て欧文で記載
A5 160頁　定価 2,420円 (本体 2,200円＋税)
ISBN 978-4-87354-712-1 C3030　(2020.2) Ⓚ

日清・日露戦争の勝利からアジア・太平洋戦争の敗北前夜にいたる帝国日本の経済外交とアフリカ植民地に対する経済戦略を考察し、第二次世界大戦後の日本の国際関係における独立アフリカの位置づけを展望する。また、日本とアフリカの経済関係の展開を歴史的に考察し、両大戦間期と戦後の世界経済史研究に新たな地平を開く。

大学生、福島を聴く
—東日本大震災と「心の復興」—

橋口 勝利　著
A5上製 304頁　定価 2,640円 (本体 2,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-715-2 C3030　(2020.3) Ⓚ

東日本大震災から９年。福島は震災記憶の風化と農産品の風評被害に直面する。福島第一原発事故の被害に苦しむ住民、復興へ尽力する自治体職員や地域住民。大学生たちは、福島の人々と触れ合うことで、自らの認識を変え、自分たちの出来ることを探し出す。それは思い込みで福島を遠ざけるのではなく、ありのままを伝えることである。

グローバリゼーションを規律するMoneyとJusticeの関係について

原田 輝彦　著
A5 272頁　定価 3,190円 (本体 2,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-720-6 C3030　(2020.3) Ⓚ

本書は貿易構造高度化と国際金融システム論をめぐるグローバリゼーションの進展、今日のビジネス環境、多国籍企業の特徴や、グローバルビジネスと地域経済の関係を多面的に論じる。また、国内法と国際法の変容にも言及しており、公正な貿易の発展を支える国際金融制度構築と歴史的文脈を明らかにする。

戦後日本経済と政策金融
—日本政策投資銀行を事例にして—

原田 輝彦　著
A5 116頁　定価 2,090円 (本体 1,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-735-0 C3030　(2021.3) Ⓚ
紙のみ

金融は経済を支える役割を担っており、資金需要者に一定の対価徴求と引き換えて提供することで経済が成り立つことが知られている。政府金融機関である日本政策投資銀行が創設時から今日まで、民間実体経済に対する資金供給＝金融経済の大きな担い手として、政府による投融資活動を果たすことで日本経済に大きく寄与したことを解説する。

アカデミアが挑むSDGs
—関西大学の多様な取り組み—

KANDAI for SDGs 推進プロジェクト　編
A5 282頁　定価 1,980円 (本体 1,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-748-0 C1000　(2022.3) Ⓙ

危機に対する社会の脆弱性は世界の格差と結びついており、SDGsの重要さを物語る。若い世代の人たちが世界の現状を知り、どのような社会を作っていくのかを考える場が大学である。関西大学はいままで、多くの自治体や企業とSDGsに係わる活動をしてきた。本書は、SDGsの課題解決に対する関西大学ならではの取り組みを紹介する。

社会科学
政　治

ポピュリズムの現代
―比較政治学的考察―

土倉 莞爾　著
A5 400頁　定価 4,400円（本体 4,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-695-7 C3031　(2019.3) Ⓚ

現代はポピュリズムの時代である。ポピュリズムの様相は国により異なるが、デモクラシーにとって重要なのは、それらひとつひとつを解きほぐし対応していくことであろう。そのような視角から、フランスの大統領選挙を始めとする近年の選挙動向、イギリスのBrexit、日本の橋下徹と大阪維新の会を題材とし、個別に研究する。

西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究

土倉 莞爾　著
A5 454頁　定価 4,070円（本体 3,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-734-3 C3031　(2021.3) Ⓚ

フランスを中心として、西ヨーロッパのキリスト教民主主義の歴史をたどる研究書。キリスト教民主主義政党は、第二次世界大戦直後、西ヨーロッパの多くの国で隆盛を極めたが、1970年代頃から衰微していった。「キリスト教民主主義」はなぜ終わったのか。20年間に亘って執筆した論文と書評を一冊にまとめた「ビフォアー・リベラル」な書。

アメリカが生む／受け入れる難民

大津留（北川） 智恵子　著
A5 296頁　定価 2,310円（本体 2,100円＋税）
ISBN 978-4-87354-639-1 C3031　(2016.9) Ⓚ
電子のみ

移民の国と言われるアメリカは数多くの難民を受け入れてもいる。その中にはアメリカが始めた戦争により生まれた難民も含まれる。難民化の原因を作ったアメリカにおいて、再定住した難民と地域社会との間に築かれる新たな関係を、インドシナ戦争時のモン族難民とイラク戦争時のイラク難民への聴き取り調査をもとに分析する。

政府―NPO関係の理論と動向
―日・英・米における
　パートナーシップ政策を中心に―

廣川 嘉裕　著
A5 156頁　定価 1,870円（本体 1,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-659-9 C3031　(2017.7) Ⓚ
紙のみ

NPOは公共サービスの供給、民主主義の活性化において大きな役割を果たす可能性があるが、そのためには政府・行政との適切な関係の構築が不可欠である。そこで本書では、日本、イギリス、アメリカにおける理論研究や実際の政策動向をもとに、NPOが独自の政治的・社会的機能を可能な限り発揮するための方策を探る。

わかりやすい刑罰のはなし
―死刑・懲役・罰金―

永田 憲史　著
四六判 242頁　定価 1,650円（本体 1,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-532-5 C3032　(2012.2) Ⓙ
紙のみ

光市事件の最高裁判所の判決で死刑の基準は変わったのか、どこの刑務所に入るかはどう決まるのか、懲役の受刑者は月にいくらもらえるのか、罰金を払わないとどうなるのか、罰金と交通反則金はどう違うのか。意外に知られていない刑罰を言い渡す手続きや刑罰の仕組み60テーマを「ですます調」でわかりやすく解説。

逐条解説
「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」

永田 憲史　著
A5 684頁　定価 4,730円（本体 4,300円＋税）
ISBN 978-4-87354-771-8 C3032　(2023.12) Ⓚ

2017年文部科学省策定「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」を、法の研究者が規定ごとに詳説する。ガイドライン違反を回避するだけでなく、調査手続を適正かつ適式に行い、調査を重大事態への対処及び同種の事態発生の防止につなげるために、学校・教育委員会・いじめに関わる専門職にとって必携の書。

あなたは加害者？ それとも被害者？

尾島 史賢　編著
A5 118頁　定価 990円（本体 900円＋税）
ISBN 978-4-87354-683-4 C0032　(2016.3) Ⓙ
紙のみ

法律知識を持たないまま軽率な行動をとれば、事件の加害者や被害者になることがある。本書は事例を通して、誰もが巻き込まれる可能性のあるトラブルから身を守る法律知識を、現役弁護士が大学生に向けてわかりやすく解説。お酒をめぐる法律問題など、私生活から恋愛、インターネット、労働、破産、選挙活動まで多様な分野を収録。

法的思考のススメ
―大人になる君に知ってもらいたいこと―

尾島 史賢　著
A5 142頁　定価 1,100円（本体 1,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-739-8 C0032　(2021.10) Ⓙ

18歳で「大人になる君」に知ってもらいたいこと。アルバイトや就職活動など、トラブルが生じがちな事柄について、弁護士が法的思考（Legal Mind）をもとにわかりやすく解説する。日常生活、住まい、消費者、恋愛、お酒、交通事故、薬物……様々な分野を Legal Mind で読み解く本書は「君」の必携書！

シチリア海法序説

栗田 和彦　著
A5上製 326頁　定価 2,970円（本体 2,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-680-3 C3032　(2018.9) Ⓚ

文明の十字路・中世地中海交易の要衝シチリアの拠点港メッシーナとトラパニに残る往時の海法を逐条的に分析・検討し、その実像に迫り、スペイン・ヴァレンシア海法との関連性やメッシーナ海法とアマルフィ海法（世にいう Foscarini 本）との類似性など、中世イタリアないし地中海海法史研究上の意義・重要性を解明する。

インドの憲法〔新版〕
―「国民国家」の困難性と可能性―

孝忠 延夫　浅野 宜之　著
A5上製 356頁　定価 3,520円（本体 3,200円＋税）
ISBN 978-4-87354-681-0 C3032　(2018.12) Ⓚ

国民国家のあり方が問われる今、29の州と７の連邦直轄領から成るインドは、その憲法で22の公用語を定め、「多様性のなかの統一」を目指してきた国として知られている。本書は、インドの基本的あり方を詳細に規定するインド憲法を紹介・分析し、その全文和訳（2016年第101次改正までを含む）を行うものである。

米軍基地問題の基層と表層

髙作 正博　著
A5上製 450頁　定価 3,300円（本体 3,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-685-8 C3032　(2019.2) Ⓚ

沖縄の米軍基地に「抗う」運動は、「民意」と「歴史」に支えられている。米軍基地から派生する様々な問題を、その直接の原因である日米地位協定や国内法、また、その底流で流れ続ける「改憲論」の観点から問い直す。米軍基地問題を日本国内の問題として捉え、その解決のための視座を、主権論や国家論に求める。

権利能力なき社団と民法上の組合
──法人でない団体に関する日本ドイツ比較法研究──

後藤 元伸　著
A5 258頁　定価 2,200円（本体 2,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-741-1 C3032　　(2021.11) Ⓚ
電子のみ

本書は法律の私法・民法領域における法人でない団体につき論じる研究書である。法人でない団体の法的基礎には、いわゆる権利能力なき社団と民法上の組合があり、それらについて、日本とドイツの比較法研究に基づき新たな法解釈論を提唱する。それは日本の2017年民法改正およびドイツの新たな権利能力なき社団論を踏まえている。

呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注
──旧中国の裁判の教訓と逸話──

佐立 治人　訳注
A5上製 316頁　定価 3,520円（本体 3,200円＋税）
ISBN 978-4-87354-775-6 C3032　　(2024.1) Ⓚ

『祥刑要覧』は明の役人・呉訥（1372～1457）が正しい裁判を行うための指針とする目的で、経書や歴史書の中から、裁判の教訓となる文章を選び出して編集したものである。江戸時代の日本でも何度か刊行されていた。本書はその訳注書であり、法律や裁判に対する古い時代の中国人の考えを会得できる。

新版 労働者概念の再構成

川口 美貴　著
A5上製 544頁　定価 3,850円（本体 3,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-777-0 C3032　　(2024.3) Ⓚ

労働法分野及び憲法28条・労基法・労契法・労組法の対象とする「勤労者・労働者」について、使用従属性等を判断基準とする従来の学説・判例等を批判的に検討。そして労働力商品の特殊性と公正競争の視点から、自ら他人に有償で労務を供給する自然人であることと交渉の非対等性を基本的判断基準として、同概念を再構成する。

社会科学
経済・経営

両大戦間期の日英経済関係の諸側面

奥 和義 著
A5上製 154頁 定価 3,850円（本体 3,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-631-5 C3033 (2016.3) Ⓚ 紙のみ

1930年代の日英経済関係は満州事変以降、直線的に政治的経済的に緊張したわけではなく、政治的経済的な協調関係の再構築が試みられる一方、世界の諸地域で対抗関係も見られるようになり、国際政治経済の情勢変化の中で多様な可能性が模索されていた。それは現代日本をとりまく国際政治経済情勢を考察する上で示唆に富む過去の鏡になる。

戦後日本の資本利益率格差

佐藤 真人 著
A5上製 380頁 定価 6,050円（本体 5,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-635-3 C3033 (2016.3) Ⓚ

資本主義的調整機構として広く受入れられている価格機構、あるいは「需要と供給の法則」は、利潤率格差と資本移動を考慮しないと不十分との観点から、戦後日本の利潤率、資本利益率の資本金規模別、及び産業部門間格差を資本蓄積との関係で観察、分析し、資本主義的調整過程の順調でないことを主張。

新たなリスクと中小企業
（Les PME face aux nouveaux risques）
―日仏シンポジウムの記録―

亀井 克之 編著
A5 178頁 定価 2,090円（本体 1,900円＋税）
ISBN 978-4-87354-632-2 C3034 (2016.3) Ⓚ 紙のみ

中小企業をテーマにフランス大使館が主催・後援した２つの日仏シンポジウムの記録。第一部「新たなリスクと中小企業」日仏の共通点と相違点は何か、各分野の専門家が討論。第二部は「中小企業経営者の健康・メンタルヘルス」見落とされてきたテーマに光をあてた討論。日本語112頁・フランス語50頁。Livre Franco-Japonais sur les PME.

Risk Management
―Basic Theory and Case―

亀井 克之 著 ※全て欧文で記載
A5 82頁 定価 1,100円（本体 1,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-706-0 C3034 (2019.10) Ⓚ

「決断力にみるリスクマネジメント」をテーマとした英文解説書。⑴リスクマネジメント理論の概説と、⑵タイレノール事件、ルノー・エスパスの開発、事業承継と老舗、健康経営、企業の自然災害対策、マラソン大会の安全管理など豊富な事例による分析から構成された一冊。関係者へのインタビュー２編を付す。

日本的リスクマネジメント理論の現代的意義
―亀井利明最終講演の記録―

羽原 敬二　亀井 克之 編著
A5 182頁 定価 1,650円（本体 1,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-640-7 C3034 (2016.10) Ⓚ 紙のみ

日本におけるリスクマネジメント理論の始祖・亀井利明（2016年１月没）が、2015年に行ったユーモアと毒舌あふれる最終講演の記録。羽原敬二によるリスクマネジメント概説や亀井利明の研究の歩みなども収録して、様々な角度から日本的リスクマネジメント理論の過去・現在・未来を学習できる書物。

1930年代における日本の金融政策
―時系列分析を用いた定量的分析―

内藤 友紀 著
A5上製 168頁 定価 2,860円（本体 2,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-664-3 C3033 (2017.10) Ⓚ

1930年代の日本における拡張的な金融政策および、それに付随する為替相場低位安定化の政策効果や実体経済への影響について、さらには信用乗数、貨幣需要関数、期待インフレ率、金利の期間構造、シニョレッジなど、当該期の金融政策を取り巻く経済環境について、経済時系列データを用いた計量分析によって明らかにする。

経営学史学会 著書部門学会賞受賞
フレデリック・テイラーとマネジメント思想

廣瀬 幹好 著
A5 294頁 定価 3,960円（本体 3,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-707-7 C3034 (2019.10) Ⓚ

F. W. テイラーが提唱したScientific Managementは、科学的管理法あるいはテイラー・システムとして知られている。しかし、テイラー・システムの基礎をなす彼のマネジメント思想についての検討は、十分ではない。本書は、マネジメント思想史におけるテイラーの位置を明確化しようと試みている。

経済大国　日本の経営
―豊かさのゆくえ―

廣瀬 幹好　著
四六判 240頁　定価 1,870円（本体 1,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-772-5 C3034　　(2023.12) Ⓚ

1980年代後半以降、日本が経済大国を自認すると同時に、日本型経営の欧米に対する優越性を説く論調が勢いを得た。この自画自賛の経営論は、バブル崩壊に続く90年代後半以降、日本企業の競争力の低下とともに完全に鳴りを潜めて現在に至る。本書では、ゆとりある生活実現に向けた日本型経営のあり方を問う。

環境政策と責任保険
―事後・事前的措置としての経済効果の定量分析―

桑名 謹三　著
A5 304頁　定価 3,960円（本体 3,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-757-2 C3033　　(2023.1) Ⓚ

海外では、環境政策に多用されている責任保険であるが、日本ではあまり用いられていない。本書は、責任保険を用いた環境政策が日本経済に与える影響を一般均衡モデル、部分均衡モデルを用いて定量的に分析・評価したものである。また、同モデルを用いて環境税制の運営コスト（取引コスト）の影響の評価も行っている。

カジノ・ゲーミング事業をめぐるガバナンスの研究

清水 涼子　北波 道子　三島 徹也
Ron Singleton　T. Nakamura　共著
A5 272頁　定価 3,850円（本体 3,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-769-5 C3033　　(2023.10) Ⓣ

カジノ導入について賛否両論の中、経済、法律、会計、監査、税務の研究者が、成功の鍵となるガバナンスの条件を探る。研究拠点である関西大学は、地元大阪・関西において産学官の連携に努めてきた。大阪へのIR誘致に際し、米国・東アジアの先行国の実情を調査。成功に必要な条件を見出し、学術界からの支援を目指す。

社会科学
社　会

日本図書館協会選定図書
大阪の笑い

井上 宏　著
四六判 250頁　定価 1,430円 (本体 1,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-322-2 C0036　(1992.7) Ⓙ
紙のみ

大阪では古くから笑いの芸能が発達し、今日も盛んなのはなぜなのか。人々に楽しみを与え、人間関係を円滑にし、幸せと健康をもたらす笑いの効用とは何なのか。人間にとっての笑いの重要性を説きながら、大阪人の生活態度や価値観と笑いの関係について分析。特に漫才の笑いや吉本新喜劇についての分析・考察はユニーク。

日本図書館協会選定図書／第３回日本笑い学会賞大賞受賞
笑いの力
―笑って生き生き―

井上 宏　著
四六判 294頁　定価 1,540円 (本体 1,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-505-9 C0036　(2010.12) Ⓙ
紙のみ

人間は誰もが「笑いの力」を持っているが、その力の可能性については十分な認識を持ってこなかった。現在の閉塞感を突破していくためには、何よりも個人と社会の元気が必要だ。自分を笑い飛ばし、未来に向けての新しいエネルギーを汲みだす「笑いの力」について認識しなおし、その力の効用について訴える。

笑いを学問する
―研究の歩みを回顧して―

井上 宏　著
A5 288頁　定価 1,540円 (本体 1,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-744-2 C0036　(2021.12) Ⓙ
紙のみ

大阪の商家で育った著者は、テレビ局勤務の体験を生かしての「メディア研究」からスタートし、漫才研究から「大阪の文化」を論じ、日本笑い学会を創立して「笑い学研究」を志す。大阪府立上方演芸資料館の設立に関与して館長にも就任。著者が関与してきた数々の事業と研究を回顧し、「笑いとユーモア」の働きを解明する。

不透明社会の中の若者たち
―大学生調査25年から見る過去・現在・未来―

片桐 新自　著
A5 278頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-585-1 C0036　(2014.7) Ⓚ
紙のみ

東日本大震災と福島第一原発事故後の、先行きが不透明になった日本社会を大学生たちはどう捉え、どう生きていこうとしているのか。昭和の終わりから四半世紀にもわたって、大学生調査を継続してきた気税の社会学者が、日本社会の過去、現在、未来を、若者の意識と価値観から見通す渾身の一冊。

時代を生きる若者たち
―大学生調査30年から見る日本社会―

片桐 新自　著
A5 318頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-705-3 C3036　(2019.9) Ⓙ
紙のみ

まだ昭和の時代だった1987年から30年間５年おきに７回、大学生の価値観を調査してきた貴重な社会学研究の集大成。時代の影響を受け、同じ大学生とは言っても、その価値観は大きく変わってきたことが端的に指摘されている。大学生を通して見る日本社会論として読むことができる価値のある一冊。

ソーシャルワーク実践における社会資源の創出
―つなぐことの論理―

狭間 香代子　著
A5 184頁　定価 2,750円 (本体 2,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-623-0 C3036　(2016.2) Ⓚ
電子のみ

社会資源創出のためにソーシャルワーカーが実践で担う役割に関する質的調査を通して、「つなぐ」というソーシャルワーク機能の重要性が導き出された。「つなぐ」機能の基盤で働く論理と理論的知識の基底にある論理との相違に焦点化することで、ソーシャルワーク実践における「つなぐことの論理」について新たな視座から論じている。

現代社会の福祉実践

黒田 研二　狭間 香代子　岡田 忠克　編著
A5 216頁　定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-651-3 C3036　(2017.3) Ⓚ
紙のみ

2000年以降の一連の福祉改革に対して、福祉実践はどのように向き合っていくのか。また、その背景にある理念をどのように考え、これまでの実践をどのように省みなければならないのか。本書では、子ども、高齢者、コミュニティにおける福祉実践を通して、そのひとつの答えを挑戦的に論述したものである。

ポスト・ソーシャル時代の福祉実践

黒田 研二　狭間 香代子　福田 公教　西川 知亨　共編
A5 186頁　定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-731-2 C3036　(2021.3) Ⓚ

激動の社会状況のなかで、人と人とのつながりに関する楽観論と悲観論が併存するポスト・ソーシャル時代において、社会福祉はどこへ向かうのだろうか。「こころ・からだ・くらし」の福祉を探究する人間健康学の観点から、現世代から次世代へと継承・展開していくポスト・ソーシャル時代の福祉実践の可能性について考察するものである。

メディア スポーツ 20世紀
──スポーツの世紀を築いたのは、スポーツかメディアか──

黒田 勇　著
A5 284頁　定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-730-5 C3036　(2021.3) Ⓚ

20世紀の身体とスポーツが、いかに誕生し成長していったのか。「マラソンの誕生」から「ヒマラヤ征服」まで、20世紀前半を彩ったスポーツイベントに焦点をあてる。スポーツイベントの誕生と発展には、新聞やラジオといったメディアが大きな役割を果たし、初期から鉄道会社の郊外開発や宗教的な情熱も関わっていたことを明らかにする。

〈体育会系女子〉のポリティクス
── 身体・ジェンダー・セクシュアリティ ──

井谷 聡子　著
A5 268頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-732-9 C3036　(2021.3) Ⓚ

強靭な身体と高度な技能、苦しい練習を耐える精神力や自律が求められるエリートアスリートの世界。だが日本の女子選手は「女らしくしろ」「女になるな」と、男子選手ならば経験することのない矛盾した要求を突きつけられる。「体育会系女子」の言説と、アスリートとしての誇りとジェンダー規範の衝突に迫るスポーツとジェンダー研究書。

初期シカゴ学派の人間生態学の展開
── 総合的社会認識の社会学 ──

西川 知亨　著
A5 326頁　定価 4,400円 (本体 4,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-742-8 C3036　(2021.10) Ⓚ
電子のみ

人と社会のダイナミズムを扱える、総合的社会認識の社会学が求められている。今や古典の社会理論とされる初期シカゴ学派の「人間生態学」を賦活させ、激動の社会状況における問題把握や社会的コントロールの方法を探る。社会学史研究を通じて、現代の社会や社会福祉の分析に活かすことを目指した意欲的な書。

災害報道とリアリティ
── 情報学の新たな地平 ──

近藤 誠司　著
A5上製 218頁　定価 2,860円 (本体 2,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-747-3 C3036　(2022.2) Ⓚ

災害が頻発する現代社会において、真価が問われる災害報道は、いまだ課題山積の状態にある。この閉塞をいかにして打ち破ればよいのか。本書では、情報とは異なる水準にあるリアリティの観点から、緊急報道・復興報道・予防報道のあり方をトータルに見つめ直す。豊富な実例を繙きながら、理論と実践を往還する待望の書。

コロナ禍と社会情報
── インフォデミックの考現学 ──

近藤 誠司　著
A5上製 232頁　定価 3,960円 (本体 3,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-773-2 C3036　(2023.12) Ⓚ

デマ、陰謀論、ディープ・フェイク……。 高度情報社会の激流は「情報の価値」を奪い去り、その一方で「価値の情報」に対する渇望を煽り続けている。我々は、今後どのようにして情報空間をサバイブしていけばよいのだろう。情報の信頼性が底抜した現代社会の混乱を見据え、生の充溢に資する情報のあり方を問い直す。

教　育

構成主義パラダイムと学習環境デザイン

久保田 賢一　著
A5 200頁　定価 2,090円 (本体 1,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-308-6 C3037　(2000.3) Ⓚ
紙のみ

情報技術が急速に発達し、社会が大きく変わろうとしている中で、教育のあり方が問われている。本書は、構成主義というポスト近代のパラダイムを軸に、マルチメディア時代に適合した学習環境を構築していく理論的基礎を提供する。また、インターネットやテレビ会議などを取り入れた高等教育における教育実践を紹介する。

大学生の学びを育む学習環境のデザイン
── 新しいパラダイムが拓く
アクティブ・ラーニングへの挑戦 ──

岩﨑 千晶　編著
A5 410頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-575-2 C3037　(2014.3) Ⓚ
紙のみ

本書は、アクティブ・ラーニングを主軸とした大学生の能動的な学びを育むための学習環境のデザインを構築するための入門書である。理論編では、アクティブ・ラーニングの背景、理念、具体的な手法、学習支援、評価方法について述べ、実践編では演習、多人数講義、ICT の活用、社会連携の視点から授業実践を紹介する。

大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン
──リスク社会に挑戦する大学教育の実践 ──

岩﨑 千晶　編著
A5 260頁　定価 2,530円 (本体 2,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-746-6 C3037　(2022.1) Ⓚ

本書は、高等教育におけるオンライン授業を設計するための入門書である。講義、実験、実習、外国語を「リアルタイム・オンデマンド・ハイブリッド型のオンライン授業」でどう実施しているのか。教育工学者による「理論編」と大学教員19名による「授業実践」で構成された、理論と実践の往還を目指した一冊となっている。

未来を切り拓く市民性教育

若槻 健　著
A5 170頁　定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-577-6 C3037　(2014.3) Ⓚ
紙のみ

近年、実践も蓄積されつつある市民性教育について、理論的に整理し、実践を意味づけることで、「社会をつくり未来を切り拓く市民を育む教育」への視座を提示するものである。その準拠点は、人間関係を出発点にして、社会を担っていく過程に参画する市民の育成を目指す人権教育に基盤を置いたものである。

新課程　博物館学ハンドブック 1

米田 文孝　森 隆男　山口 卓也　編著
A4 180頁　定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-615-5 C3037　(2015.3) Ⓢ
紙のみ

博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、3 教科のハンドブック。学芸員を目指す大学生にわかりやすく、基礎的な事項から解説する。第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆。コンパクトで取り扱いやすい教科書、副読本である。

新課程　博物館学ハンドブック 2

米田 文孝　森 隆男　山口 卓也　編著
A4 176頁　定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-616-2 C3037　(2015.3) Ⓢ
紙のみ

博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館展示論、博物館資料保存論、博物館情報・メディア論、博物館教育論、4 教科のハンドブック。基礎的な事項から解説する。第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆。コンパクトで取り扱いやすい教科書、副読本である。

新課程　博物館学ハンドブック 3

米田 文孝　森 隆男　山口 卓也　編著
A4 112頁　定価 1,320円 (本体 1,200円＋税)
ISBN 978-4-87354-649-0 C3037　(2017.3) Ⓢ
紙のみ

博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館実習のハンドブック。館園実習の基本から実務までを、第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆した。館園の実習展示会開催に必要な手順と実務を網羅している、コンパクトな教科書・副読本である。

持続的な学びのための大学授業の理論と実践

安藤 輝次 著
A5 188頁 定価 1,980円（本体 1,800円＋税）
ISBN 978-4-87354-667-4 C3037 （2018.2） Ⓚ

人工知能やIoTが進展する中で、学生が学びを持続的に展開する大学授業が求められている。アクティブ・ラーニングだけでは、学生に深い思考は育たない。ルーブリックの学習促進機能を活用して、学びの出来・不出来を明らかにし、不出来を出来るようにする“フィードバック”の方法・技術にその解決の方途がある。

大学教育の国際化への対応

池田 佳子 著
A5 120頁 定価 1,980円（本体 1,800円＋税）
ISBN 978-4-87354-704-6 C3037 （2019.3） Ⓚ 電子のみ

日本の大学の国際化は、必須課題である。従来の「大学」の学生プロフィールを考え直し、海外の高等教育機関と留学生を争奪する戦略が鍵となる。日本人学生も、国外の基準を見据えた変革を進める大学を志向する傾向にあり、大学が自力で進める、キャンパスと教育の国際化のプロセスは安易でない。本書は具体例を交えた状況レポートである。

ポスト・コロナ禍時代のグローバル人材育成
──大学の国際教育のパラダイムシフト──

池田 佳子 前田 裕 藤田 髙夫 山本 英一 本村 康哲
ベネットアレキサンダー バイサウスドン 岩﨑千晶 古川智樹
プールオミッドサッジャド 共著
A5 206頁 定価 3,300円（本体 3,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-759-6 C3037 （2023.3） Ⓚ

コロナ禍を経て、国際教育やグローバル人材育成教育を取り巻く状況は一変した。本書では、その変化に対応すべく関西大学が取り組んだICTを活用する新しい教育の形を紹介する。ポスト・コロナ禍に向けて大学教育そのものの意義が問われる今、国際教育や人材育成に携わるもの全てにとって必読の書である。

大学での学び
──その哲学と拡がり──

田中 俊也 著
A5上製 178頁 定価 2,200円（本体 2,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-725-1 C3037 （2020.10） Ⓚ

「大学での学び」に要求される本質的な特徴を「学びの哲学」として捉え、問題解決、協同、創造、感動をキーワードにして詳述した。そうした「哲学」を元に運営されたゼミで学び、現在は様々な領域で活躍している18名の卒業生たちの「実践」を、エビデンス・データとして紹介。「大学での学び」がどのように拡がっているかを検証した。

令和6年度三井住友海上福祉財団奨励賞受賞（交通事故・各種災害の防止等分野）

防災教育学の新機軸
──まなび合いのアクションリサーチ──

近藤 誠司 著
A5上製 216頁 定価 3,520円（本体 3,200円＋税）
ISBN 978-4-87354-755-8 C3037 （2022.11） Ⓚ

災害が頻発する現代社会において、虚心坦懐にいのちをまなざす真の防災教育学が要請されている。本書では、時流に乗ってノウハウやハウツウの断片を押し付ける防災教育のあり方を倫理学的な観点から再検討し、人生におけるまなび合いの道程に防災学習を再定位する。豊富な実例を繙きながら理論と実践を往還する気鋭の書。

ポスト・コロナ時代の留学生教育
──関西大学留学生別科の挑戦と展望──

古川 智樹 編著
A5 276頁 定価 3,080円（本体 2,800円＋税）
ISBN 978-4-87354-776-3 C3037 （2024.2） Ⓣ

コロナ禍によるオンライン教育の普及、2023年「日本語教育機関認定法」の成立によって、日本語教育は大きな変革期を迎えている。本書は、関西大学留学生別科でこれまでに行ってきたオンライン教育を含むICTを活用した日本語教育、日本語教師養成の実践研究をまとめた。ポスト・コロナの日本語教育変革期に必読の書。

自然科学

食べ物の履歴書

吉田 宗弘 著
A5 304頁 定価 3,300円 (本体 3,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-754-1 C3039 (2022.9) Ⓚ

日々の献立に登場する身近な食べ物について、その由来や普及のプロセスを「履歴書」を書き記すように様々な角度から平易に解説。うどんや豆腐がかつて高級食材であったこと、緑色のきゅうりが一般に広まったのが江戸時代末期であったことなど、ありふれた食べ物や献立の知られざる歴史を語る。

工学・工業

建築音響物理学

豊田 政弘 著
A5 350頁 定価 5,060円 (本体 4,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-770-1 C3052 (2023.12) Ⓚ

建築に必要・不要な音を知り、それらの挙動を踏まえた音響設計を行うための物理について、基礎から応用までを丁寧かつ精緻に解説する。音波の基礎をはじめとし、聴きたい音をより良く聴かせるための室内音響工学、聞きたくない音をより小さくするための騒音制御工学、ならびに、計算機を利用した数値解析技術を取り扱う。

芸術・生活

第6回表象文化論学会賞奨励賞

アメリカン・リアリズムの系譜
―トマス・エイキンズからハイパーリアリズムまで―

小林 剛　著
四六判上製 268頁　定価 2,860円（本体 2,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-576-9 C3070　(2014.3) Ⓚ　紙のみ

アメリカ美術においては周期的に多様な形態のリアリズムが現れては消え、その都度アートの枠組みが更新されている。そうしたリアリズムの系譜を19世紀から現代まで時代ごとの文化的背景も踏まえながら辿っていくことによって、「世界認識の方法」としてのリアリズムがアメリカ文化のなかで果たしてきた役割を明らかにする。

ビルダーボーゲンの研究

宇佐美 幸彦　著
A5上製 796頁　定価 7,150円（本体 6,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-633-9 C3070　(2016.3) Ⓚ　紙のみ

ビルダーボーゲンは19世紀ドイツの大衆の間に普及した一枚絵の印刷物である。ドイツ版の浮世絵・瓦版であり、グラビア雑誌、マンガ、アニメの原型である。視覚・情報メディアの歴史的研究には不可欠な研究対象である。また大衆の生活、心情が反映されており、ドイツ大衆を歴史的に把握するためには貴重な史料である。

林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺

長谷部 剛　山寺 三知　共編訳
A5 380頁　定価 2,420円（本体 2,200円＋税）
ISBN 978-4-87354-654-4 C3073　(2017.3) Ⓣ　紙のみ

名著復活！ 世界的に著名な東洋音楽学者、林謙三の不朽の名著『隋唐燕楽調研究』は日本語原稿が失われ、郭沫若の中国語訳しか現存しない。本書は、郭訳に基づき日本語版を復元、また、林謙三の未発表稿「唐楽調の淵源」、「郭沫若さんと私の『隋唐燕楽調研究』」、陳応時「『隋唐燕楽調研究』の新見解を論ず」なども収録。

〈現場〉のアイドル文化論
―大学教授、ハロプロアイドルに逢いにゆく。―

森 貴史　著
四六判 310頁　定価 1,870円（本体 1,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-724-4 C3070　(2020.7) Ⓚ

ゼミ生の卒論がきっかけでアイドルにハマる「こじらせ」大学教授は、40代後半で初めてアイドルに逢いにゆく。本書はその〈現場〉での体験を元に考察したアイドル文化論。現在のアイドルと、それをめぐるファンコミュニティと〈現場〉のあり方を論じることで、現代日本のアイドル文化の実態を広範に論じる、稀有なサブカルチャー研究書。

日英仏 日本拳法の基本習得教書
―日本拳法に学ぶリスクマネジメント―

亀井 克之　著
B5 152頁　定価 2,640円（本体 2,400円＋税）
ISBN 978-4-87354-740-4 C3075　(2021.10) Ⓚ

1932年澤山宗海が創始した日本拳法と、1978年亀井利明が創設した日本リスクマネジメン学会。これらは関西大学発祥であり、本書は２つの「粋」共演の書である。第一部は日英仏３カ国語と写真入りで中学校武道教育の教本に対応。第二部はリスクマネジメント基礎理論とリスクマネジメント論から見た日本拳法が育む安全重視の思想論。

日仏対訳 フランス医療機関におけるアート
―アートとリスク感性―

亀井 克之　著
A5 190頁　定価 3,850円（本体 3,500円＋税）
ISBN 978-4-87354-765-7 C3070　(2023.3) Ⓚ

医療機関におけるアートの役割と効用とは―日本語とフランス語の両方でフランス病院におけるアートの導入とアートを活用した治療について講演に基づき解説。作品掲示から、デジタルアート、イリュミナール、アートセラピー、美術館でのデイケアまで。
Version bilingue sur l'art dans les hôpitaux en France.

祈りの形にみる西洋近世
―茨木の銅版画シリーズ〈七秘跡と七美徳がある主の祈りの七請願〉―

蜷川 順子　著
A5上製 388頁　定価 5,610円（本体 5,100円＋税）
ISBN 978-4-87354-766-4 C3071　(2023.3) Ⓚ　紙のみ

近世初期に宣教師がもたらした祈りの銅版画シリーズは、宗教戦争で顕在化した分裂を調整しながら、非ヨーロッパ世界へ拡張してきた西欧社会の、緊張と模索を伝えるものでもあった。本書は、このシリーズのイメージと、これを生みだした背景や伝統を徹底的に読み解き、当時の受容空間だけでなく現代にも連なる諸問題を探る。

領域のフレーミング
―風景が生まれるところ―

蜷川 順子　メルテム・オズカン・アルトゥノズ　吉田 雄介　共著
A5　402頁　定価 4,950円（本体 4,500円＋税）　紙のみ
ISBN 978-4-87354-779-4　C3071　（2024.3）Ⓣ

風景が描かれる場合、最初は対象を美的なものとして評価、判断する認識能力が働くが、同時にそれを自らの周囲に置きたい、仮想的空想的であれ、それに囲まれた領域を自らのものとしたいという願望が生じる。本書では、近代的風景画を枠付ける、フレーミングする、という視座から捉えなおすために、ケーススタディを展開する。

語　学

外国語コミュニケーションの情意と動機
── 研究と教育の視点 ──

八島 智子　著
A5 210頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-394-9 C3082　(2004.3) Ⓚ
紙のみ

外国語を用いた異文化との出会いは、他者との対話を通して共通の意味を構築していくプロセスである。その中で自己を意識し行動レパートリーを拡張する。本書では、外国語で話すときの不安や自信、外国語学習の動機、異文化への態度や異文化接触などを扱い、異文化理解をめざす外国語教育研究への学際的アプローチを提示する。

外国語学習とコミュニケーションの心理
── 研究と教育の視点 ──

八島 智子　著
A5 236頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-687-2 C3082　(2019.3) Ⓚ

外国語でコミュニケーションを図るというのは極めて複雑な作業である。外国語の能力だけでなく、使うときの不安や緊張、外国語学習の動機づけ、異文化への態度や国際性など、多くの要因が関わる。本書では外国語学習とコミュニケーションの心理を、応用言語学、コミュニケーション学、心理学の３分野から幅広く探求する。

17世紀フランス文法家証言集Ⅴ
── 前置詞 ──

伊藤 誠宏　著　※大半が欧文で記載
A5上製 420頁　定価 4,950円 (本体 4,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-665-0 C3085　(2018.1) Ⓚ

17世紀フランス文法家の前置詞に関する見解を収集した資料文献集。Oudin,Vaugelas など近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしたかを感知できると思う。また、近代フランス語の形成過程を学ぶのに役立てることができる、貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅵ
── 代名詞 ──

伊藤 誠宏　著　※大半が欧文で記載
A5上製 338頁　定価 4,950円 (本体 4,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-714-5 C3085　(2020.2) Ⓚ

17世紀フランス文法家の代名詞に関する見解を収集した資料文献集である。Oudin,Vaugelas など近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしたかを感知できると思う。また、本書は近代フランス語の形成過程を学ぶのに役立つ貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅶ
── 形容詞 ──

伊藤 誠宏　著　※大半が欧文で記載
A5上製 358頁　定価 5,040円 (本体 4,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-743-5 C3085　(2021.11) Ⓚ

17世紀フランス文法家における形容詞への見解を収集した資料文献集である。Oudin、Vaugelas など、近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えで国語を精査・洗練し、作り上げようとしていたかを本書から感知できる。類書がとぼしい現在、このような証言資料集は17世紀フランス語解明やフランス語研究に寄与するといえる。

英語教育に生かす英語語法学

奥田 隆一　著
A5上製 258頁　定価 3,080円 (本体2,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-634-6 C3082　(2016.3) Ⓚ

英語のコミュニケーション教育が強調されるにつれて、英文法・語法が軽視され、英語を正確に理解・表現できない生徒が増えてきている。この本では、コミュニケーションにも重要な、日本人の理解しにくい英文法・英語法などについて考察し、日英語の違いと日本人が理解困難な点に配慮する英語教育の復権を、具体的な例をあげて提案する。

英語語法学の展開

奥田 隆一　著
A5上製 186頁　定価 1,980円 (本体 1,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-674-2 C3082　(2018.3) Ⓚ

現代英語に見られる興味深い語法現象を、具体例をあげながら紹介する。それらを新しい視点から大きく捉え直し、英語の用法の現状を見て行くとともに、現代英語の用法の分析に有効である新しい視点を提示する。特に、現代英語の口語表現で使用される、様々な語法現象を取り上げ、その背景にある使用理由の探求を試みた。

英語ことわざ使用の実態

奥田 隆一　著
A5上製 200頁　定価 2,090円 (本体 1,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-727-5 C3082　(2020.12) Ⓚ

英語のことわざの本には、どのように使われるのか、今でも使われているのか、という情報がほぼない。本書では英語学の分析方法や知見を基礎に、ことわざの表現形式に注目し、現代英語で実際に使用されている具体例を検討、英語のことわざの使用に関する現状とその特徴を明らかにした。現代英語での各ことわざの使用頻度リストを掲載。

五つの言語時計
―英語用法の5つのスタイルをめぐる言語学的な小旅行―

マーティン・ジョース　著／奥田 隆一　訳
A5上製 118頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-778-7 C3082　(2024.3) Ⓚ

堅苦しい表現、くだけた表現などの英語表現を５つのスタイルに分類し、その用法の背後にある要素を社会言語学的に解明した、英語表現に関心のある人にとっての必読書を翻訳。本文の説明では比喩や皮肉などが多用されていたり、著者と教師ミス・フィディッチとの対話により話が展開したりするため、分かりやすい注釈をつけた。

現代中国語における情報源表出形式
―本来の守備範囲と拡張用法―

李 佳樑　著
A5上製 268頁　定価 3,520円 (本体 3,200円＋税)
ISBN 978-4-87354-684-1 C3087　(2019.2) Ⓚ

本書は、孤立語である中国語も合理的に説明できるような理論的枠組みを探った上で、現代中国語における情報源表出に関連する複数の構文・機能語がどのような意味機能を持ち、如何に成立したのかという問題を考察し、中国語の情報源表出の体系を浮き彫りにしたものである。この分野の研究における必読文献と言えよう。

現代中国語アスペクトの体系的研究

戴 耀晶　著／李 佳樑　小嶋 美由紀　共訳
A5上製 268頁　定価 3,630円 (本体 3,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-729-9 C3087　(2021.3) Ⓚ

中国語におけるアスペクト研究の第一人者である戴耀晶の名著『現代漢語時体系統研究』の日本語訳書。中国語に触れた人なら一度は興味を持つ中国語の難解なアスペクト現象。海外の研究で影響力のある分析手法も取り入れながらも、独自のアプローチで体系的かつ包括的に論じている。本書は原著者の考えをより伝えるため訳者註を施した。

コミュニケーションのための英語音声学研究

山根 繁　著
A5 256頁　定価 1,980円 (本体 1,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-689-6 C3082　(2019.2) Ⓚ

英語学習者のコミュニケーション能力に最も重要な要素のひとつは、相手に情報を正確に伝えることである。本書は、意思伝達に必要な発音力を育成することを目的にし、さらに、大学院生、教育現場の教師、研究者が発音研究や音声指導を行うにあたり、必要不可欠な情報をまとめた実践的な指導書・研究書になっている。

ウソと欺瞞のレトリック
―ポスト・トゥルース時代の語用論―

山本 英一　著
A5上製 180頁　定価 2,860円 (本体 2,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-693-3 C3082　(2019.3) Ⓚ

ポスト・トゥルースの語に象徴されるように、現代は真実と虚偽の境界が見えにくい。ウソ・欺瞞が日常化した今、背景にあるレトリックの特徴を明らかにすることが重要になっている。本書は、語用論を出発点に、誠実な発話の対極にあるウソ・欺瞞が成立する仕組みを考え、間違った解釈へと誘導される人間の性向を解き明かす。

謎解きとコミュニケーション
―語用論から西欧の知を考える―

山本 英一　著
A5 170頁　定価 1,980円 (本体 1,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-764-0 C3082　(2023.3) Ⓚ

語用論は場面の意味を考える。そこでは記号と意味の一意対応はなく、謎解きのように推論を通して最適の解に至る。一方、必然性と規則性を志向する西欧の学問は、既にある秩序から解を選ぶことはできても、混沌から結論が立ち現れることは許さない。本書は「謎解き」をキーワードに発話解釈と西洋の知の限界を考える。

現代中国語の文語

石崎 博志　著
A5上製 278頁　定価 4,840円 (本体 4,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-774-9 C3087　(2024.1) Ⓚ

学術的な洞察と実践的な応用のバランスを取りながら、法律や食品包装など実用的な文語の理解を助け、比喩やプロソディ、告知文のリズムなど言語の認知的側面を解説。また、中国語の標点符号の適切な使用、若年層の文語利用の割合など、多岐にわたる話題を提供しつつ、中国語の文語の世界へと導く。

文　学

三国志への道標

井上 泰山　著
A5 294頁　定価 1,980円 (本体 1,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-688-9 C3098　(2019.2) Ⓚ

小説『三国志演義』の世界を全15回にわたって解説した講演集。「連環の計」「赤壁の戦い」「三顧の礼」などの名場面や、「義」を基軸として展開される乱世の人間模様を多角的に分析し、その真髄に迫る。16世紀末にスペインに流出した貴重な版本についても、筆者自身の調査結果を詳細に報告し、近年までの研究史を回顧。

EMMA VOL. Ⅱ

関西大学ジェイン・オースティン研究会　編著
B6上製 390頁　定価 4,730円 (本体 4,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-627-8 C3097　(2016.3) Ⓣ　紙のみ

1994年関大版注釈『エマ』第Ⅰ巻の刊行以来22年ぶりの注釈書第Ⅱ巻。本注釈は、世界中のオースティン人気に呼応して英米で続々と刊行された『エマ』のテクスト、Penguin版、Cambridge版、Harvard版等に見る最新の知見を活かし、作品の時代的、文化的背景に関する情報を多く盛り込んだ。注は第Ⅲ巻で完結。

EMMA VOL. Ⅲ

関西大学ジェイン・オースティン研究会　編著
B6上製 494頁　定価 7,590円 (本体 6,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-763-3 C3097　(2023.3) Ⓣ　紙のみ

関西大学ジェイン・オースティン研究会による『エマ』の注釈書第Ⅰ巻の刊行は、1994年。第Ⅱ巻は、それ以後英米での Jane Austen の注釈版テキストが Cambridge 版ほか多数出版されたのを活かして2016年に刊行した。今回の第Ⅲ巻は、新しい注釈者を加え、巻末に詳細な注と全3巻用の索引を付した。

ヘンリー・ジェイムズ短編選集
―「ある年の物語」他三編―

ヘンリー・ジェイムズ　著／李 春喜　訳
四六判 326頁　定価 2,530円 (本体 2,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-638-4 C3097　(2016.9) Ⓚ

ヘンリー・ジェイムズ没後100周年記念。本邦初訳で短編四編を紹介。南北戦争を題材にした最後の未訳作品「ある年の物語」、ヨーロッパ社交界の洗礼を浴びる青年の姿を描いた「ユージーン・ピカリング」、ジェイムズ作品の中で異彩を放つ「ベンヴォーリオ」、結婚と恋愛の逆説をあつかった「進むべき道」の四編を所収。

左手のための小作品集
―100のエピソード―

J・ロバート・レノン　著／李 春喜　訳
四六判 254頁　定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-711-4 C3097　(2020.2) Ⓚ　紙のみ

本書は、現在米国で活躍中の小説家、J・ロバート・レノン著 Pieces for the Left Hand: 100 Anecdotes の全訳である。本書は全7章から構成されており、1頁から3頁程度の掌編100編が所収されている。そのほとんどが本邦初訳であるだけでなく、一冊の図書としては、J・ロバート・レノン氏を初めて日本に紹介するものである。

日本における近代中国学の始まり
―漢学の革新と同時代文化交渉―

陶 徳民　著
A5 340頁　定価 2,530円 (本体 2,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-650-6 C3091　(2017.3) Ⓚ　紙のみ

藤澤東畯から見た銭泳『海外新書』、星野恒選・王韜評『明清八家文』;「桐城派」族譜と藤野海南・宮島大八、吉野作造・青木正児・西村碩園の五四「文学革命」観;重野安繹・青木・倉石武四郎の「漢文直読」論、内藤湖南の章学誠顕彰に影響された胡適・姚名達・張爾田など、「土着」の漢学が目指した近代的革新を活写。

スタンダールのオイコノミア
―経済の思想、ロマン主義、作家であること―

柏木 治　著
四六判上製 342頁　定価 3,300円 (本体 3,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-652-0 C3098　(2017.3) Ⓚ　紙のみ

19世紀前半、社会の資本主義化が進むなか、文学活動もまた市場経済と密接に関係するようになった。本書は、個人的な金銭問題から同時代の産業主義的経済思想にいたるまで、金にかかわる諸現象の総体を「オイコノミア」とみなし、スタンダールがこれにどのように向き合ったかを検討しつつ、金銭と文学活動の関係に迫る。

銀行家たちのロマン主義
── 一九世紀フランスの文芸とホモ・エコノミクス ──

柏木 治 著
四六判 292頁 定価 2,750円 (本体 2,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-703-9 C3098 (2019.3) Ⓚ

フランス文芸において「銀行家」がその存在感を増すようになるのは19世紀にはいってからである。自由主義思想と古典派経済学の興隆、産業革命と資本主義経済の発達のなかで社会は「銀行家」の表象をどのように形成していったのか。ロマン主義時代における銀行家たちの現実に照準を合わせ、彼らの文化活動の実相に迫る。

英米の絵本の窓から
── Views from the Window of Picture Books ──

石原 敏子 著
A5上製 270頁 定価 2,970円 (本体 2,700円＋税)
ISBN 978-4-87354-663-6 C3098 (2017.11) Ⓚ
紙のみ

絵本にできることは何か。外を見ると同時に中を見る、という「窓」のイメージをテーマとして、絵本が、外の世界へと読者の視点を向かわせる上に、自分の心の内を見つめる助けとなることを指摘する。さらに、絵本というメディアの豊かさを示すものとして、ABC 絵本、楽譜絵本、手芸絵本というジャンルの作品を紹介する。

my little abc book
── 絵本を楽しむ26文字の旅 ──

石原 敏子 著
B6 102頁 定価 1,100円 (本体 1,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-701-5 C0098 (2019.3) Ⓙ
紙のみ

絵本は、子どものためだけのものではなく、大人にとっては、シンプルな言葉で書かれた哲学書である。絵本を読むことで、自分の考えを整理し、生き方を振り返ることを提案する。ABC の一文字ずつ絵本を取り上げ、ちょうど子どもが読みの基本のアルファベットを学び取るように、絵本の楽しみ方の基礎を身に付けていく。

情報社会の伝統詩

鵜飼 康東 著
四六判 300頁 定価 3,080円 (本体 2,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-669-8 C3091 (2018.2) Ⓚ
紙のみ

情報通信技術と短歌の相互関係を分析した学術書。著者は第20回角川短歌賞を受賞した情報経済学者である。文理融合分野ソシオネットワーク戦略を創出した。第 1 部で情報通信技術の短歌への影響を叙事詩の観点から考察し、第 2 部で純粋抒情詩の立場から象徴主義短歌を批判、第 3 部に著者の代表的文藝評論を収録している。

杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究

長谷部 剛 著
A5 296頁 定価 2,310円 (本体 2,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-694-0 C3098 (2019.3) Ⓚ

中国最大の詩人、杜甫の詩文集については、その死後300年を経て成立した『宋本杜工部集』が現存する唯一完全なテキストであり、杜甫詩人の自筆テキストは現存しない。本書は中国文献学の知見・研究手法を取り入れ、「杜甫生前、そして死後、彼のテキストはどのように筆写され流通したのか」という問題についてその解明を試みたものである。

ダニエル・デフォー研究

干井 洋一 著
A5上製 246頁 定価 3,850円 (本体 3,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-709-1 C3098 (2019.12) Ⓚ

英国小説の誕生に欠かせない役割を果たしたダニエル・デフォー。彼が取り組んだテーマは多岐に亘っており、小説だけでなく政治や経済に関する著作も出している。本書はデフォー・カノン問題を踏まえつつ、文学理論を援用しながら、英国小説黎明期の作家ダニエル・デフォーを多角的に考察した研究書である。

チロルの悲劇
── アンドレーアス・ホーファー ──

カール・インマーマン 著
宇佐美 幸彦 酒井 友里 共訳
A5 272頁 定価 3,410円 (本体 3,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-710-7 C3098 (2019.12) Ⓣ

1809年、世界最強のナポレオン軍がチロルに進軍してくる。チロル民衆の英雄ホーファー率いる農民軍は、岩石落としなど山岳地帯特有の戦法で祖国防衛の戦いに勝利した。だがナポレオン軍にウィーンまで攻め込まれたオーストリア皇帝は講和を結び、チロルを放棄する。チロル農民軍の勇敢な戦いと悲劇的結末を扱った作品。

サラ・プジョル・ラッセル詩集
── 肉体の下のフィンセント ──

サラ・プジョル・ラッセル 著
イバン・ディアス・サンチョ 鼓 宗 編訳
A5 186頁 定価 2,530円 (本体 2,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-716-9 C3098 (2020.3) Ⓣ

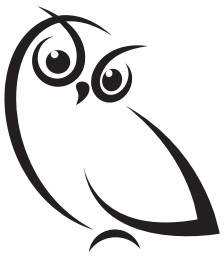
「詩は互いに滋養を分け合う」── 言葉が放つ光の彫金師、カタルーニャの女性詩人サラ・プジョル・ラッセルの選詩集。ゴッホから霊感を得た表題作のほか、「月の孤独」、「愛、渇望の深さ」など、2019年出版の最新詩集所収の 3 編を含む 4 冊の詩集から33編を収載。ディアス・サンチョによる解題を併録。日西 2 ヶ国語版。

アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ

奥 純 著

A5上製 332頁 定価 4,400円（本体 4,000円＋税）
ISBN 978-4-87354-726-8 C3098 （2020.11）Ⓚ

抑圧と分断を超えた新しい生活のために、不連続な未来を生きる想像力とは何か。フランスに新風を巻き起こした文芸改革運動ヌーボー・ロマンの先駆者アラン・ロブ＝グリエ。その作品は非常に難解で、幻想的な雰囲気に満ちている。本書は彼の作品構成の変遷とその意味を考察。ロブ＝グリエの作家としての全貌を明らかにすることを試みた。



関西大学東西学術研究所出版図書

関西大学東西学術研究所研究叢刊50

〈時〉と〈鏡〉超越的覆蔵性の哲学

── 道元・西田・大拙・ハイデガーの思索をめぐって ──

井上 克人 著

A5上製 476頁 定価 4,950円 (本体 4,500円＋税)

ISBN 978-4-87354-600-1 C3010 (2015.3)

紙のみ

本書は、前著『露源と覆蔵 ── 現象学から宗教哲学へ』の続編である。道元の禅思想にみる存在論、西田幾多郎の〈絶対無〉と〈逆対応〉の論理、鈴木大拙が説く〈即非〉の論理、そしてハイデガーの〈有〉と〈時〉をめぐる思索それぞれに通底するものを探り、それを「超越的覆蔵性」という著者独自の視点から読み解いた哲学的洞察の書。

関西大学東西学術研究所研究叢刊51

東アジア言語接触の研究

沈 国威　内田 慶市　編著

A5上製 448頁 定価 4,400円 (本体 4,000円＋税)

ISBN 978-4-87354-622-3 C3087 (2016.2)

紙のみ

漢字、特に近代以降の漢字新語、訳語の創出、普及に関する最新研究。翻訳論、文体論から漢字訳語の造語法、新漢語の語構成、「牛津」「剣橋」「恋愛」「難民」などの個別語誌まで多角度からアプローチし、近代語形成の諸問題を漢字文化圏における言語接触・語彙交流というバックグランドにおいて考察する論文集である。

関西大学東西学術研究所研究叢刊52

文化交渉学のパースペクティブ

── ICIS国際シンポジウム論文集 ──

吾妻 重二　編著

A5上製 486頁 定価 4,730円 (本体 4,300円＋税)

ISBN 978-4-87354-637-7 C3020 (2016.8)

紙のみ

東アジアにおける文化の形成、展開、相互交渉の様相をダイナミックにとらえ、文化交渉学の展望を探る東西学術研究所ICISの国際シンポジウム論文集。言語接触研究班、近世近代日中文化交渉研究班、東アジア宗教儀礼研究班のICIS三研究班のメンバー、および海外の研究者による論文16点を収める。文化交渉学の新たな成果。

関西大学東西学術研究所研究叢刊53

The Cultural Interaction of East Asia Seas in the Early Modern

松浦 章　編著

※全て欧文で記載

A5上製 240頁 定価 3,520円 (本体 3,200円＋税)

ISBN 978-4-87354-642-1 C3022 (2016.11)

紙のみ

近世東アジア海域において朝鮮王朝、江戸幕府は“鎖国”的な政策を堅持したため、海外への船舶の進出はほとんど見られなかった。しかし中国帆船は積極的に海外に進出し、取りわけ中国帆船は“鎖国”下の日本へ恒常的に来航し、日中文化交流に貢献した。本書はその一端に関する論考と、中国帆船の東南アジア海域への進出などの論考を収める。

関西大学東西学術研究所研究叢刊54

From Medieval to Modern

── Aspects of the Western Literary Tradition ──

和田 葉子　編著

※約半数が欧文で記載

A5 212頁 定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)

ISBN 978-4-87354-653-7 C3098 (2017.3)

紙のみ

中世初期から現代に至る、欧米の諸地域で生まれたラテン語、英語、スペイン語、ロシア語、フランス語による西洋文学の作品は、それぞれ独自の社会的、政治的、宗教的状況と深い関わりを持っている。そのような中で、これらの文学がどのような異文化の影響を受け、その結果がどのようにテキストに表れているのかを考察する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊55

聖心（みこころ）のイコノロジー

── 宗教改革前後まで ──

蜷川 順子　著

A5 334頁 定価 5,280円 (本体 4,800円＋税)

ISBN 978-4-87354-655-1 C3071 (2017.3)

紙のみ

キリスト教世界で広く見られる聖心図像の起源と展開とを、世俗世界のハート形と比較しながら中世から近世にかけてのヨーロッパの文化、宗教、民俗事情などに探り、シスマ終結を機に公会議で定められた、パンとぶどう酒のそれぞれがもう一方の聖体を含むとする二種併存説に、積極的な図像展開の理由があったことを論じる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊56

泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈

── 関西大学創立130周年記念泊園書院シンポジウム論文集 ──

吾妻 重二　編著

A5上製 250頁 定価3,520 円 (本体 3,200円＋税)

ISBN 978-4-87354-662-9 C3021 (2017.8)

紙のみ

関西大学の知的ルーツのひとつとなった大阪の私塾、泊園（はくえん）書院。江戸後期から明治・大正・昭和へと続くその知的伝統を、学問や芸術、門人、人脈の軌跡をめぐって論じ、漢学・大阪・近代日本とのかかわりを照射する。関西大学創立130周年を記念して開かれたシンポジウムの論文８点を収める。最新の研究成果。

関西大学東西学術研究所研究叢刊57
西教東漸と中日事情
── 拝礼・尊厳・信念をめぐる文化交渉 ──

陶 徳民 著
A5 376頁 定価 3,960円（本体 3,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-700-8 C3020 (2019.3)
紙のみ

清の典礼問題から明治末の三教会同までの東西宗教交渉史を、ローマ教皇と康熙帝、S・W・ウィリアムズとW・A・P・マーティン、王韜とJ・レッグ、中村敬宇と井上哲次郎、栗田寛と井上毅、藤澤南岳と西園寺公望、チェンバレンと小泉八雲、内藤湖南とトムソンなど複数の関係人物に対する研究と関連画像146点にて活写。

関西大学東西学術研究所研究叢刊58
近世東アジアにおける口語中国語文の研究
── 中国・朝鮮・日本 ──

奥村 佳代子 著
A5 378頁 定価 2,310円（本体 2,100円＋税）
ISBN 978-4-87354-699-5 C3087 (2019.3)
紙のみ

中国、朝鮮、日本には、それぞれ話し言葉として記述された資料群がある。話されたように書くことが意識された中国語とは、どのような特徴を持ち、また資料によってどのような違いが見られるのだろうか。唐通事の会話テキスト、中国档案資料の供述書、備辺司の問情別単等の資料を用い、話し言葉と書き言葉の境界を考察する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊59
東西学術研究と文化交渉
──石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集 ──

吾妻 重二 編著
A5上製 512頁 定価 6,270円（本体 5,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-708-4 C3021 (2019.11)

近代東洋学のパイオニアとして言語学や敦煌学、チベット学、大阪文化研究などに大きな足跡を残した石濱純太郎は関西大学の中国学・東西学術研究発展の礎を築いた功労者でもあった。2018年はその没後50年にあたるところから国際シンポジウムを開催した。国内外19篇の論考を収め、石濱の足跡と貢献を明らかにする。

関西大学東西学術研究所研究叢刊60
東南アジアの華人廟と文化交渉

二階堂 善弘 著
A5 146頁 定価 2,640円（本体 2,400円＋税）
ISBN 978-4-87354-713-8 C3014 (2020.2)

世界中にチャイナタウンが存在し、華人文化が広まっている。本書は東南アジアのシンガポールとマレーシアを中心に、華人たちの民間信仰や道教、習合の状況を現地調査に基づき報告する。また、ベトナム・タイ・フィリピンにあるチャイナタウンの廟の状況についても報告。様々な宗教文化が交錯する現象を、文化交渉の視点から追う。

関西大学東西学術研究所研究叢刊61
風景論
──東アジアから見る・読む・考える ──

中谷 伸生 編著
A5上製 348頁 定価 5,170円（本体 4,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-721-3 C3071 (2020.3)
紙のみ

風景とは何か、という問題設定の下、日本美術を中心に、西洋美術や日本史や宗教学の論考を収録して、若手研究者たちによる斬新な研究を紹介する。これらの論考は「東アジア」という視点から考察されたものである。絵画史が多くを占めているが、近年、関心をもたれつつある多様な「風景画」をめぐる論攷となっている。

関西大学東西学術研究所研究叢刊62
西士與近代中國（せいしよ）：羅伯聃研究論集
──ロバート・トーム研究（研究と影印）──

沈 国威 編著
A5上製 314頁 定価 5,060円（本体 4,600円＋税）
ISBN 978-4-87354-722-0 C3022 (2020.3)
紙のみ

1834年来華したイギリス人ロバート・トーム（羅伯聃）が、イソップ寓話を中国語に翻訳したり、中国語と英語の学習書を執筆したりする文化活動だけではなく、アヘン戦争中、外交官としても活躍した。本書は、翻訳史、中国語・英語学習史、外交史の角度から当時の貴重資料を用いてロバート・トームの人間像と貢献に迫る。

関西大学東西学術研究所研究叢刊63
松陰とペリー
──下田密航をめぐる多言語的考察 ──

陶 徳民 著
B5 162頁 定価 4,620円（本体 4,200円＋税）
ISBN 978-4-87354-723-7 C3021 (2020.3)
紙のみ

開国初期の下田湾で演出された日米交渉のドラマを、米側の一次史料と約60点の貴重画像を用いて活写。松陰の旗艦滞留時間の特定、下田獄中の嘆願書の解読、ペリーが行った人道的介入の事実確認など重要な発見を満載。近代東西文化交渉の視野から、日・中・英三言語を駆使して「心が動いた」歴史的瞬間をキャッチした意欲作。

関西大学東西学術研究所研究叢刊64
Abraham Lincoln, Samuel Williams and East Asia
── A Multilingual Study ──

陶 徳民 編著
B5 214頁 定価 6,380円（本体 5,800円＋税）
ISBN 978-4-87354-737-4 C3021 (2021.3)
紙のみ

将軍家茂に返信しジョセ彦を日本に派遣したリンカーン大統領と、ペリーの通訳官と北京駐在代理公使を務めた宣教師ウィリアムズ。開国以降の中国・日本に影響し続けている二人の米国人に関する論考。本書は明星大学東京リンカーンセンターなどに所蔵されている一次資料より執筆した論文７編、関連する写真170余点と目録で構成されている。

関西大学東西学術研究所研究叢刊65
国際シンポジウム論文集 内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程
──内藤・石濱両文庫収蔵資料を中心に──

玄 幸子　編著
A5 254頁　定価 4,620円（本体 4,200円＋税）
ISBN 978-4-87354-760-2 C3020　(2023.3)
紙のみ

2021年11月（於関西大學）開催の国際シンポジウム論文集。内藤文庫（関西大学図書館）・石濵文庫（大阪大学図書館）に収蔵される資料から内藤湖南・石濵純太郎を中心に据えて日本近代東洋学の歩みを見るというテーマでまとめられた。内容は内藤湖南論・石濵純太郎論ばかりでなく敦煌学・言語学・文学など多方面におよぶ。

関西大学東西学術研究所研究叢刊66
国際シンポジウム論文集 内藤湖南研究の最前線

陶 徳民　編著
A5 344頁　定価 5,170円（本体 4,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-761-9 C3021　(2023.3)
紙のみ

2021年11月関西大学で開かれた国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎──近代東洋学の射程」の内容の一部として、「内藤湖南における学問と政治」、「内藤湖南の学術・芸術とその周辺」と「内藤湖南の儒教思想と仏教観・神道観」をめぐる論考14編を収録。関西大学図書館内藤文庫所蔵資料をフルに活用し、新しい問題意識を示した意欲的論集。

関西大学東西学術研究所研究叢刊68
戦争と文学の交渉
──古代から近現代へ──

増田 周子　編著
A4 182頁　定価 5,170円（本体 4,700円＋税）
ISBN 978-4-87354-768-8 C3090　(2023.3)

2022年３月に開催された国際シンポジウム論集。終戦から77年、そしてロシアによるウクライナ侵攻に直面する今日、古代から近現代までの戦争を巡る文学を取り上げ、その意義を読み解く。壬申の乱から戦後日本まで、戦争の悲惨さや苦悩、そして人間愛を描いた数々の作品は、我々に何を問いかけるのか。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ18
神話から神化へ
──中国民間宗教における神仏観──

劉 雄峰　著／二階堂 善弘　監訳
A5 228頁　定価 3,190円（本体 2,900円＋税）
ISBN 978-4-87354-618-6 C3014　(2015.12)
紙のみ

人びとの宗教についての認識は、ますます深まっている。中国の明清時代には、宝巻を信仰の中心にすえる民間宗教が次々に興った。これまで、歴史的な研究が多かった民間宗教を、その信仰理論面から考察したものが本書である。神仏系譜、神話理論、救済観念、倫理思想の４つに分類し、宗教的意義を新たに検討した。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ19
えも言われぬ美しさの、きらびやかにして、永遠なる
サーカス

ラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ　著／平田 渡　訳
A5上製 544頁　定価 4,730円（本体 4,300円＋税）
ISBN 978-4-87354-628-5 C3097　(2016.3)
紙のみ

サーカス〈番記者〉を自認するスペイン前衛派作家、ラモンが書き留めた、はらはらどきどきの、空中ブランコや綱渡り、曲馬の高度な技、そして観客に笑いをふりまき、心をなごませる道化師の練達の芸。ベル・エポックのパリとマドリードに花開いたサーカス文化の、馥郁たる薫りがただよう。文化人類学的に評価の高い作品。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ20
コスタリカ選詩集―緑の祈り

カルロス・フランシスコ・モンヘ　編／鼓 宗　訳
A5上製 254頁　定価 3,080円（本体 2,800円＋税）
ISBN 978-4-87354-698-8 C3098　(2019.3)
紙のみ

自然豊かな平和国家として名高い中米の楽園、コスタリカ。本書は同国を代表する現代詩人の一人が編んだアンソロジーである。ダリーオの影響色濃いモデルニスモの詩に始まり、フェミニズムやディスコミュニケーションなど、多様な主題と格闘する今日の作品にまで至る、かの国の詩人たちが記してきた詩の100年の軌跡をたどる。

関西大学東西学術研究所資料集刊13-10
天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料
──江戸時代漂着唐船資料集十──

松浦 章　編著
A5 382頁　定価 3,740円（本体 3,400円＋税）
ISBN 978-4-87354-666-7 C3021　(2018.2)
紙のみ

1836（天保７）年正月に、現在の鹿児島県の片浦に漂着した中国から長崎への貿易船金全勝号の、約40年にわたる中日間を往来した記録を収録。特に、金全勝号が文化年間初期に長崎来航を確認できる繪圖『長崎遊覧圖繪』全巻の影印と研究編の「唐船金全勝号の来日とその時代」は、“唐船”金全勝号の航跡について述べる。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-5
家礼文献集成　日本篇 五

吾妻 重二　編著
B5上製 382頁　定価 4,730円（本体 4,300円＋税）
ISBN 978-4-87354-625-4 C3014　(2016.3)
紙のみ

日本における朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第５冊。藤井懶斎『二礼童覧』、熊沢蕃山『葬祭弁論』、和刻本『居家必用事類全集』乙集の家礼部分、室鳩巣『文公家礼通考』、新井白石『家礼儀節考』、猪飼敬所『文公家礼儀節正誤』、岡山藩の関連文献二種を影印・翻刻する。いずれも儒教儀礼の貴重資料。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-6
家礼文献集成　日本篇 六

吾妻 重二　編著
B5上製 358頁　定価 4,730円 (本体 4,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-626-1 C3014　(2016.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第６冊。江戸時代に刊行された『家礼』関係和刻本三種を収める。浅見絅斎点『家礼』５巻・図１巻、『文公家礼儀節』８巻、小出永安点『新刻性理大全』家礼部分４巻。いずれも広く読まれたテキストとして影響が大きい。中国刊本（底本）の考察など書誌学上の詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-7
家礼文献集成　日本篇 七

吾妻 重二　編著
B5上製 384頁　定価 5,720円 (本体 5,200円＋税)
ISBN 978-4-87354-672-8 C3014　(2018.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第７冊。古学系として荻生徂徠、伊藤東涯および東峯、朱子学系として中井甃庵および竹山・履軒、陽明学系として三輪執斎と佐藤一斎、考証学系として津阪東陽、松崎慊堂、朝川善庵、洋学系として佐久間象山、そして有職故実家による諸著作を収める。詳細な解説つき。儀礼史上の重要文献。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-8
家礼文献集成　日本篇 八

吾妻 重二　編著
B5上製 368頁　定価 4,950円 (本体 4,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-691-9 C3014　(2019.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第８冊。林鳳岡・人見竹洞・木下順庵『服制合編』、中村てき斎『親尊服義』、伊藤東涯『釈親考』、村士玉水『二礼儀略』、池田草庵『喪祭略儀』を輯集、影印する。「冠婚葬祭」の儒教儀礼のうち、葬祭（喪祭）に関する重要文献の数々。詳細な目次と解説を附する。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-9
家礼文献集成　日本篇 九

吾妻 重二　編著
B5上製 322頁　定価 6,050円 (本体 5,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-736-7 C3014　(2021.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第９冊。儒教葬祭儀礼をめぐる山崎闇斎、浅見絅斎の著作および講義を影印収載する。すなわち闇斎の『文会筆録』家礼部分、絅斎の『家礼師説』、『喪祭小記』（『通祭喪葬小記』および『浅見先生祠堂考』）、『家礼紀聞』、『喪祭略記』である。『家礼師説』（写本）には全文の翻刻を附した。解説つき。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-10
家礼文献集成　日本篇 十

吾妻 重二　編著
B5上製 358頁　定価 7,590円 (本体 6,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-751-0 C3014　(2022.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズ『家礼文献集成　日本篇』一～九（2010～2021）に続く10冊目の資料集。写本で伝えられた三宅尚斎と、その門人の著作を影印収載する。『朱子家礼筆記』、『家礼雑記』、『祭祀略礼』、『祭祠略記』など、重要でありながらこれまでほとんど論じられることがなかった文献群である。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-11
家礼文献集成　日本篇 十一

吾妻 重二　編著
B5上製 378頁　定価 7,150円 (本体 6,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-762-6 C3014　(2023.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズ『家礼文献集成　日本篇』一～ 十（2010～2022）に続く11冊目の資料集。写本でのみ伝えられた尾張藩儒、蟹養斎の関連著作を初めて翻刻、収載する。『居家大事記』『士庶喪祭考』『儒法棺椁式』『火葬辨』の4種で、山崎闇斎に始まる崎門派の儒教儀礼および『家礼』学の特色を示す重要文献である。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-12
家礼文献集成　日本篇 十二

吾妻 重二　編著
B5上製 358頁　定価 7,810円 (本体 7,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-783-1 C3014　(2024.3)
紙のみ

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第12冊。写本でのみ伝えられた天木時中、中村習斎、稲葉迂斎、稲葉默斎、福井敬斎ら崎門学派の著述を影印収載する。補遺として林述斎の『封禅書』を影印翻刻。神道の「神祇伯家葬送古図」が『文公家礼儀節』の翻案であることも初めて明らかにする。東アジア儒教研究の貴重な成果。

関西大学東西学術研究所資料集刊29-3
新聞「泊園」
―泊園書院資料集成 三―

吾妻 重二　編著
B4上製函入 444頁　定価 9,350円 (本体 8,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-647-6 C3021　(2017.3)
紙のみ

大阪を代表する私塾であり、関西大学の知的ルーツのひとつとなった泊園書院の新聞を影印。1927（昭和２）年から1943（昭和18）年まで藤澤黄坡と石濱純太郎を中心として刊行された全77号を原寸大で掲載し、詳細な「記事名・執筆者一覧」「人名索引」、「解説」を附す。泊園書院とその学問・人脈、近代漢学、大阪文芸の貴重な資料。

関西大学東西学術研究所資料集刊38

日本台湾統治時代のジャンク型帆船資料
── 中国式帆船のアーカイヴズ ──

松浦 章　編著

A4 366頁　定価 4,180円 (本体 3,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-617-9 C3037　(2015.10)

紙のみ

日清戦争後の1895年以降からおよそ半世紀にわたって、日本が台湾を統治すると、伝統的な中国式帆船いわゆるジャンク型帆船にも船籍の登録が必要となり、多くの台湾の船舶が台湾総督府に船籍登録している。その記録の一部が、旧台湾総督府の公文書類の中に残された。本書はその一部について考察を加え、船籍登録書も影印し紹介する。

関西大学東西学術研究所資料集刊39

吉田松陰と佐久間象山
── 開国初期の海外事情探索者たち（Ⅰ）──

陶 徳民　編著

A4 288頁　定価 4,730円 (本体 4,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-630-8 C3021　(2016.3)

紙のみ

下田密航事件をめぐる松陰の義勇、象山の智謀とペリーの仁愛。幕府の『墨夷応接録』、米日和親条約と羅森「日本日記」、松陰自筆の『海国図志』抄録・「投夷書」と下田獄中の嘆願書、象山『省けん録』およびペリーの航海日誌中の松陰乗船記録など、「その時心が動いた」瞬間をキャッチした第一級の文字史料と画像を網羅する入魂の力作。

関西大学東西学術研究所資料集刊39-2

平山省斎と岩瀬忠震
── 開国初期の海外事情探索者たち（Ⅱ）──

陶 徳民　編著

A4 404頁　定価 6,600円 (本体 6,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-676-6 C3021　(2018.3)

紙のみ

明治維新150周年に当り、あえて安政期の外交で活躍し儒教的理念と世界的視野を持合せた幕吏の代表作を提示する。扉絵としてカラー図版113点、第１部は『地理全志』・『満清紀事』、第２部は『省斎年譜草案』・『省斎遺稾』、第３部は忠震自筆の『輿地便覧』と大槻文庫旧蔵『瀛環表』などを収録。よって「敗者」側の功績と精神を後世に伝える。

関西大学東西学術研究所資料集刊40-1

北京官話全編の研究（上巻）
── 付影印・語彙索引 ──

内田 慶市　編

B5上製 756頁　定価 7,810円 (本体 7,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-644-5 C3087　(2017.2)

紙のみ

19世紀末に日本人の領事、深澤暹が編集した『北京官話全編』は全378章からなり、『語言自邇集』（T. F. Wade）を凌ぐ北京語研究の極めて重要な資料である。今回それを完全影印し、さらに、輪読会のメンバーによる研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、学界に裨益すること大である。本書はその上巻である。

関西大学東西学術研究所資料集刊40-2

北京官話全編の研究（中巻）
── 付影印・語彙索引 ──

内田 慶市　編

B5上製 760頁　定価 7,810円 (本体 7,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-658-2 C3087　(2017.5)

紙のみ

19世紀末に日本人の領事、深澤暹が編集した『北京官話全編』は全378章からなり、『語言自邇集』（T. F. Wade）を凌ぐ北京語研究の極めて重要な資料である。今回それを完全影印し、さらに、輪読会のメンバーによる研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、学界に裨益すること大である。本書はその中巻である。

関西大学東西学術研究所資料集刊40-3

北京官話全編の研究（下巻）
── 付影印・語彙索引 ──

内田 慶市　編著

B5上製 962頁　定価 9,680円 (本体 8,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-673-5 C3087　(2018.3)

紙のみ

19世紀末に日本人の領事、深澤暹が編集した『北京官話全編』は全378章からなり、『語言自邇集』（T. F. Wade）を凌ぐ北京語研究の極めて重要な資料である。今回それを完全影印し、さらに、輪読会のメンバーによる研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、学界に裨益すること大である。本書はその結びとなる下巻である。

関西大学東西学術研究所資料集刊41

内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編
── 英佛調査ノート ──

玄 幸子　高田 時雄　編

B5上製 656頁　定価 7,590円 (本体 6,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-646-9 C3022　(2017.3)

紙のみ

『内藤湖南 敦煌遺書調査記録』の続編。1924（大正13）年から1925（大正14）年にかけ、内藤湖南一行がヨーロッパに渡航し、ロンドンおよびパリで敦煌写本の調査を行った。本書は、関西大学内藤文庫に所蔵される記録ノート全13冊を、解説と索引を附して影印するものである。内藤湖南の敦煌学を知るための基本資料となる一冊。

関西大学東西学術研究所資料集刊43

日本の近世近代絵画と文化交渉

中谷 伸生　著

B5上製 298頁　定価 5,390円 (本体 4,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-675-9 C3071　(2018.3)

紙のみ

江戸時代から現代に至る日本近世近代絵画史研究。江戸時代の大坂画壇の絵画を含む狩野派、四条派、文人画から近代および現代絵画までの交流を扱う論考。日本の絵画を中心とする中国、台湾、フランス、スペインなどの絵画との比較研究。新資料を数多く掲載した研究書で、美術史的な文化交渉学の可能性を問う。

関西大学東西学術研究所資料集刊44
『拝客訓示』の研究
── 解題と影印 ──

内田 慶市　編著
B5上製 252頁　定価 6,380円 (本体 5,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-692-6 C3016　(2019.3)
紙のみ

マテオ・リッチを始めとするイエズス会宣教師の手によると思われる東西文化に関わる中国語の問答集。これを通して、当時の西洋人の中国観や中国人のヨーロッパに関する知識の伝播を知ることが出来る極めて貴重な資料である。文化交渉の資料としてだけでなく、近代中国語研究においても本書の刊行は極めて有益な物である。

関西大学東西学術研究所資料集刊45
シャルトル大聖堂
── 秋山博愛撮影写真追懐 ──

中谷 伸生　編著
A4上製 246頁　定価 6,380円 (本体 5,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-696-4 C3070　(2019.3)
紙のみ

長らく関西大学の教壇に立った故・秋山博愛教授撮影の1960年代から1970年代のシャルトル大聖堂についての写真集で、修道院活動に関する講義ノートを収録。同時に、関西大学教授中谷伸生撮影による2008年以後の写真と論文を収録し、21世紀に入って大修理を進めるシャルトルの新旧の表情を紹介する。

関西大学東西学術研究所資料集刊46
戦ひの記 インパール作戦
──「弓」師団長 田中信男従軍記 ──

増田 周子　編著
B5上製 198頁　定価 4,510円 (本体 4,100円＋税)
ISBN 978-4-87354-702-2 C3021　(2019.3)
紙のみ

インパール作戦第33師団「弓」師団長田中信男中将の『従軍日誌』全文初公開！ 従軍作家火野葦平が託され、日本に持ち帰った貴重な日誌！ 戦後70年以上を経た現在「死の作戦」と言われた戦争の真実が克明に活写され、師団長の苦悩や陸軍上層部の暴挙の様が浮かび上がる。世界平和を改めて考えるための必読の書。

関西大学東西学術研究所資料集刊47
『華英通語』四種 ── 解題と影印

内田 慶市　田野村 忠温　編著
B5上製 670頁　定価 11,000円 (本体 10,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-719-0 C3087　(2020.3)
紙のみ

『華英通語』は、中国で出版された英語の単語と会話文例を収めた書物である。本書はその『華英通語』の道光版をはじめ、19世紀に商人として中国に渡ったイギリス人、ロバート・トームの「華英通語雑話」など貴重な四種を影印、詳しい解題を付している。いずれも日中欧言語接触研究の貴重な資料であることは言うまでもない。

関西大学東西学術研究所資料集刊48
南京官話資料集
──《拉丁語南京語詞典》他二種 ──

内田 慶市　編著
B5上製 494頁　定価 8,250円 (本体 7,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-718-3 C3087　(2020.3)
紙のみ

19世紀中葉以降、北京官話が、それまで広く使用された南京官話に取って代わるという事象が起きた。南京官話に関する資料は少ないが、今回、これまで目に触れることのなかった資料三種（ラテン語南京語辞典、教義問答、南京会話テキスト）を解題を付けて影印し、研究者の便に供することとした。

関西大学東西学術研究所資料集刊49
『造洋飯書』の研究
── 解題と影印 ──

内田 慶市　編著
B5上製 396頁　定価 7,700円 (本体 7,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-733-6 C3039　(2021.3)
紙のみ

16世紀以降、イエズス会宣教師をその主な担い手とする「西学東漸」という一大潮流が巻き起こり、様々なものが西から東にもたらされた。本書は中国で最初に出版された西洋料理レシピ本である『造洋飯書』(1866) と、その後継である『西法食譜』(1889) を影印。解題として「近代中国における西洋料理の伝播と受容 ──『造洋飯書』を中心に」を付した。

関西大学東西学術研究所資料集刊50
内藤湖南の人脈と影響
── 関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る ──

陶 徳民　編著
B5 246頁　定価 7,480円 (本体 6,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-752-7 C3021　(2022.3)
紙のみ

内藤湖南（1866-1934）の還暦祝賀および葬祭記録から、京大東洋史教授・書画研究者・政論家として築かれたその広汎な人脈が窺える。第一級史料と画像、同時代の報道や回想、手堅い論考にて実証する。編著者による解説「晩年の湖南 ── 還暦前後から一周忌までの事ども」、高田時雄氏による特別寄稿「ポール・ペリオと内藤湖南」を収録。

関西大学東西学術研究所資料集刊51
北京官話資料8種「京華襍拾」
── 解題と影印・語彙索引 ──

内田 慶市　編著
B5上製 374頁　定価 8,140円 (本体 7,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-753-4 C3087　(2022.3)
紙のみ

カルフォルニア大学バークレー校東アジア図書館所蔵の北京官話資料８種（京話指南、三字経、千字文、大学、中庸、意拾喩言、一塊金錢、聖諭廣訓）は、最近発見された。18世紀末に著わされたと思われるこれらを影印し、解題と語彙索引を付した。北京官話研究に新しい資料が加わり、研究者にとって裨益すること大であると確信する。

関西大学経済・政治研究所出版図書

関西大学経済・政治研究所研究双書第159冊
子どもの安全とリスク・コミュニケーション

関西大学経済･政治研究所 子どもの安全とリスク･コミュニケーション研究班 編
A5 262頁 定価 2,530円 (本体 2,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-582-0 C3037 (2014.3)
紙のみ

関西大学経済・政治研究所「子どもの安全」班による研究成果。リスクマネジメントの基本的な考え方、子どもを取り巻くリスク、子どもを持つ生活者のリスクマネジメント、ケータイと子どもの安全、メンタルヘルスと子どもの安全、お受験とリスクマネジメント、個人情報の保護、参加型手法を取り入れた防災教育、学校の危機管理と防災教育。

関西大学経済・政治研究所研究双書第163冊
市民マラソンがスポーツ文化を変えた

亀井克之 杉本厚夫 西山哲郎 増田明美 著
尾久裕紀 吉田香織 打越忠夫 協力
A5 184頁 定価 1,650円 (本体 1,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-648-3 C3075 (2017.3)
紙のみ

2007年の第１回東京マラソン開催以来、「市民マラソン」がブームとなっている。本書は「スポーツ文化」をキーワードに、この社会現象にアプローチする。地域振興型マラソンのいすみ健康マラソンの事例、都市型マラソンとしての大阪マラソン、マラソン大会のリスク管理など、スポーツ文化を軸にした広範なディスカッションを盛り込む。

関西大学経済・政治研究所研究双書第167冊
市民自治の育て方
―協働型アクションリサーチの理論と実践―

草郷 孝好 編著
A5上製 170頁 定価 1,870円 (本体 1,700円＋税)
ISBN 978-4-87354-670-4 C3036 (2018.3)
紙のみ

SDGsが示す持続する社会の実現には、地域社会の当事者である市民-行政-NPOの協働がカギを握る。この当事者協働を促し、ボトムアップ型の市民自治を醸成するために、研究者にできることは何か？ 本書は、学際的研究班の研究成果をもとに、実践的研究の必要性、理論、特色、倫理等を概説し、先駆的取り組みを紹介する。

関西大学経済・政治研究所研究双書第168冊
財政の健全化と公会計改革

柴 健次 編著
A5上製 200頁 定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-671-1 C3033 (2018.3)
紙のみ

現金ベースの予算と発生ベースの会計がどのように関連付けられるかが重要である。本研究では、財政、会計、管理、評価、格付けという分野での個別論点を棚卸し、今後の研究への足掛かりとした。その観点から、財政の健全化には会計情報の活用が重要であることを論じている。特に、吹田市における管理会計的な具体的利用の研究成果を紹介。

関西大学経済・政治研究所研究双書第172冊
続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた

亀井克之 杉本厚夫 西山哲郎 増田明美 吉田香織
尾久裕紀 著／打越忠夫 白方健一 M高史 協力
A5 118頁 定価 1,760円 (本体 1,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-717-6 C3075 (2020.3)

主な内容「ロンドンマラソンに見る物語性」、「ベルリンマラソンのマジック」、「大阪マラソンのボランティアをブランディングする」、「大阪マラソンによる自己変革と組織変革」、「市民ランナーとトップランナーの交流に学ぶ」。ロンドン、ベルリン、大阪マラソンなど、市民マラソンがスポーツ文化にもたらしたものは何かを考察。

関西大学経済・政治研究所研究双書第181冊
合意形成と制度
―租税条約、明治維新、官僚人事―

北川 亘太 井澤 龍 柏原 宏紀 小嶋 健太 著
A5 248頁 定価 5,060円 (本体 4,600円＋税)
ISBN 978-4-87354-780-0 C3033 (2024.3)

様々な価値観が競合するなか、どのように「合意」を形成するのか。本書は、古今東西の事例から挑んだ、経済学・政治学・歴史学の異色の共同研究。制度は、歴史的につくられた前提であると同時に、そのもとでの合意形成の産物である、と捉えて、合意形成と制度の動態を多面的に検討する。

関西大学経済・政治研究所研究双書第182冊
ツーリズムの脱構築
―地域の語りと観光・博物館・博覧会―

岡田 朋之 編著
A5 302頁 定価 2,200円 (本体 2,000円＋税)
ISBN 978-4-87354-781-7 C3036 (2024.3)
紙のみ

観光立国や観光による地域再生が叫ばれる昨今だが、そこでの観光資源、地域資源とはそもそも何なのか。ダークツーリズムは地域の発展に貢献しないのか。生の声を語り継ぐことは可能なのか。デジタル時代の現代で、万博は時代遅れのイベントなのか。語ること、見せること、参加することを軸に観光のあり方を捉え直す。

関西大学経済・政治研究所研究双書第183冊

ファミリービジネスの事業承継と経営戦略

亀井 克之　編著／上野 恭裕　上田 正人
林 能成　堀越 昌和　徐 聖錫　共著

A5 266頁　定価 3,630円（本体 3,300円＋税）
ISBN 978-4-87354-782-4 C3034　　(2024.3)

ファミリービジネスの事業承継、後継者による第２創業、経営戦略、事業継続マネジメント、危機管理に関する理論と事例。堺市伝統産業・福井とナカニ、豫洲短板産業、なんつね、オイカワデニム、韓国企業、外食企業など豊富な事例研究。中小企業経営者の健康の重要性やフランスのビジネス・トランスファー理論など新たな視点。

電子書籍一覧

電子書籍は丸善雄松堂（Knowledge Worker / Maruzen eBook Library）および紀伊國屋書店（Kinoden）、ProQuest Ebook Central ほかにて配信しています。ご購入方法・価格等は各ストアにてご確認ください。

哲学・心理学・宗教

モノ探し行動の心理学 2
スピノザとフロイト 6
落着と実在 6
意味論の内と外 6
詩と哲学のあわい 6

歴史・地理

近世ベトナムの地方支配と北部山地 2
19世紀スペインにおける連邦主義と歴史認識 7
スイス観光業の近現代 8

社会科学総記

災害情報学の挑戦 3
辰巳経世著作集 9
Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective 9
大学生、福島を聴く 9
グローバリゼーションを規律する Money と Justice の関係について 9
アカデミアが挑む SDGs 9

政治

思想家鶴見俊輔とその時代 3
ポピュリズムの現代 10
西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究 10
アメリカが生む／受け入れる難民 10

法律

いじめ防止対策推進法の重大事態の研究 3
逐条解説「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」 11
法的思考のススメ 11
シチリア海法序説 11
インドの憲法［新版］ 11
米軍基地問題の基層と表層 11
権利能力なき社団と民法上の組合 12
呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注 12
新版 労働者概念の再構成 12

経済・経営

南フランスの文化・地域社会と産業 3
戦後日本の資本利益率格差 13
Risk Management 13
1930年代における日本の金融政策 13
フレデリック・テイラーとマネジメント思想 13
経済大国　日本の経営 14
環境政策と責任保険 14
カジノ・ゲーミング事業をめぐるガバナンスの研究 14

社会

昭和・平成・令和の大学生 3
ジャズとダンスのニッポン 4
ソーシャルワーク実践における社会資源の創出 15
ポスト・ソーシャル時代の福祉実践 16
メディア スポーツ 20世紀 16
〈体育会系女子〉のポリティクス 16
初期シカゴ学派の人間生態学の展開 16
災害報道とリアリティ 16
コロナ禍と社会情報 16

教育

大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン 17
持続的な学びのための大学授業の理論と実践 18
大学教育の国際化への対応 18
ポスト・コロナ禍時代のグローバル人材育成 18
大学での学び 18
防災教育学の新機軸 18
ポスト・コロナ時代の留学生教育 18

自然科学

自然環境医学 4
食べ物の履歴書 19

工学・工業

建築音響物理学 20

芸術・生活

〈現場〉のアイドル文化論 21
日英仏 日本拳法の基本習得教書 21
日仏対訳 フランス医療機関におけるアート 21

語学

無生物主語他動詞文の日中対照研究 4
外国語学習とコミュニケーションの心理 23
17世紀フランス文法家証言集Ⅴ 23
17世紀フランス文法家証言集Ⅵ 23
17世紀フランス文法家証言集Ⅶ 23
英語教育に生かす英語語法学 23
英語語法学の展開 23
英語ことわざ使用の実態 24
五つの言語時計 24
現代中国語における情報源表出形式 24
現代中国語アスペクトの体系的研究 24
コミュニケーションのための英語音声学研究 24
ウソと欺瞞のレトリック 24
謎解きとコミュニケーション 24
現代中国語の文語 24

文学

恭仁京と万葉歌 4
三国志への道標 25
ヘンリー・ジェイムズ短編選集 25
銀行家たちのロマン主義 26
杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究 26
ダニエル・デフォー研究 26
チロルの悲劇 26
サラ・プジョル・ラッセル詩集 26
アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ 27

関西大学東西学術研究所出版図書

東西学術研究と文化交渉 29
東南アジアの華人廟と文化交渉 29
戦争と文学の交渉 30

関西大学経済・政治研究所出版図書

続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた 34
合意形成と制度 34
ファミリービジネスの事業承継と経営戦略 35

著訳編者名索引

ア

浅野宜之 11
鰺坂真 9
吾妻重二 4、5、28、29、30、31
安藤輝次 18
池田佳子 18
池田進 6
井澤龍 34
石川亮太 5
石崎博志 24
石原敏子 26
井谷聡子 16
伊藤健市 2
伊藤誠宏 23
井上克人 6、28
井上泰山 25
井上宏 15
イバン・ディアス・サンチョ 26
岩﨑千晶 17、18
岩橋勝 5
上田正人 35
上野恭裕 35
鵜飼康東 26
宇佐美幸彦 21、26
打越忠夫 34
内田慶市 6、28、32、33
M 高史 34
大津留（北川）智恵子 10
岡田忠克 15
岡田朋之 34
尾久裕紀 34
奥和義 13
奥純 27
奥田隆一 23、24
奥村佳代子 29
尾島史賢 11

カ

カール・インマーマン 26
柏原宏紀 34
柏木治 25、26
片桐新自 3、15
加藤雅人 6
亀井克之 3、13、21、34、35
カルロス・フランシスコ・モンヘ 30
川口美貴 12
河村厚 6
関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班 34
関西大学ジェイン・オースティン研究会 25
韓淑婷 2
KANDAI for SDGs 推進プロジェクト 9
菊池信彦 7
北川勝彦 9
北川亘太 34
北川央 7
北波道子 5、14
木山実 5
草郷孝好 34
久保田賢一 17
栗田和彦 11
黒田勇 16
黒田研二 15、16
桑名謹三 14
玄幸子 30、32
孝忠延夫 11
小嶋健太 34
小嶋美由紀 24
後藤元伸 12
木庭元晴 7
小林剛 21
近藤誠司 3、16、18

サ

酒井友里 26

笹川慶子 7
佐々木土師二 2
佐立治人 12
佐藤真人 13
サラ・プジョル・ラッセル 26
柴健次 34
清水涼子 14
Ｊ・ロバート・レノン 25
白方健一 34
沈国威 28、29
杉本厚夫 34
徐聖錫 35

タ

戴耀晶 24
髙作正博 11
高田時雄 32
田中俊也 18
田野村忠温 33
鼓宗 26、30
陶徳民 7、25、29、30、32、33
土倉莞爾 3、10
豊田政弘 20

ナ

内藤友紀 13
永井良和 4
中嶋悟 4
永田憲史 3、11
中谷伸生 29、32、33
T. Nakamura 14
二階堂善弘 29、30
西川知亨 16
西村成弘 5
西村雄志 5
西山哲郎 34
蜷川順子 21、22、28

ハ

バイサウスドン 18
狭間香代子 15、16
橋口勝利 9
長谷部剛 21、26
羽原敬二 13
浜本隆志 7
林能成 35
原田輝彦 9
平田渡 30
廣川嘉裕 10
廣瀬幹好 13、14
フィリップ・S・フォーナー 2
福田公教 16
藤田髙夫 18
古川智樹 18
プールオミッドサッジャド 18
ベネットアレキサンダー 18
ヘンリー・ジェイムズ 25
干井洋一 26
堀越昌和 35

マ

麻子軒 4
マーティン・ジョース 24
前田裕 18
増田明美 34
増田周子 30、33
松浦章 7、28、30、32
三島徹也 14
村田右富実 4
メルテム・オズカン・アルトゥノズ 22
本村康哲 18
森仁志 7
森隆男 17
森貴史 21
森本慶太 8

ヤ

八島智子 23
山口卓也 17
山寺三知 21
山根繁 24
山本幾生 6
山本英一 18、24
吉川和希 2
吉田香織 34
吉田宗弘 19
吉田雄介 22

米田文孝 17

ラ

ラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ 30
李佳樑 24
李奭學 6
李春喜 25
劉雄峰 30
Ron Singleton 14

ワ

和田葉子 28
若槻健 17

書名索引

ア

アカデミアが挑む SDGs 9
飛鳥藤原京の山河意匠 7
あなたは加害者？ それとも被害者？ 11
アメリカが生む／受け入れる難民 10
アメリカン・リアリズムの系譜 21
新たなリスクと中小企業
（Les PME face aux nouveaux risques） 13
アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ 27
いじめ防止対策推進法の重大事態の研究 3
五つの言語時計 24
祈りの形にみる西洋近世 21
意味論の内と外 6
インドの憲法〔新版〕 11
ウソと欺瞞のレトリック 24
英語教育に生かす英語語法学 23
英語ことわざ使用の実態 24
英語語法学の展開 23
Abraham Lincoln, Samuel Williams and
East Asia 29
英米の絵本の窓から 26
越境の野球史 7
EMMA VOL. Ⅱ 25
EMMA VOL. Ⅲ 25
大阪の笑い 15

カ

外国語学習とコミュニケーションの心理 23
外国語コミュニケーションの情意と動機 23
『華英通語』四種―解題と影印 33
カジノ・ゲーミング事業をめぐる
ガバナンスの研究 14
合衆国労働運動史 1 2
家礼文献集成　日本篇 五 30
家礼文献集成　日本篇 六 31
家礼文献集成　日本篇 七 31
家礼文献集成　日本篇 八 31
家礼文献集成　日本篇 九 31
家礼文献集成　日本篇 十 31
家礼文献集成　日本篇 十一 31
家礼文献集成　日本篇 十二 31
家礼文献集成　日本篇 十三 4
環境政策と責任保険 14
関西経済とアジア 5
関西大学と大正ロマンの世界 7
銀行家たちのロマン主義 26
近世東アジアにおける口語中国語文の研究 29
近世ベトナムの地方支配と北部山地 2
恭仁京と万葉歌 4
グローバリゼーションを規律する
Money と Justice の関係について 9
経済大国　日本の経営 14
現代社会の福祉実践 15
現代中国語アスペクトの体系的研究 24
現代中国語における情報源表出形式 24
現代中国語の文語 24
建築音響物理学 20
〈現場〉のアイドル文化論 21
権利能力なき社団と民法上の組合 12
合意形成と制度 34
構成主義パラダイムと学習環境デザイン 17
古新聖經殘稿 外二種 北堂本與滿漢合璧本 6
コスタリカ選詩集―緑の祈り 30
呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注 12
子どもの安全とリスク・コミュニケーション 34
コミュニケーションのための英語音声学研究 24
コロナ禍と社会情報 16

サ

災害情報学の挑戦 3
災害報道とリアリティ 16
財政の健全化と公会計改革 34
えも言われぬ美しさの、きらびやかにして、永遠なる
サーカス 30
サラ・プジョル・ラッセル詩集 26
三国志への道標 25
自然環境医学 4

思想家鶴見俊輔とその時代 3
持続的な学びのための大学授業の理論と実践 18
時代を生きる若者たち 15
シチリア海法序説 11
詩と哲学のあわい 6
市民自治の育て方 34
市民マラソンがスポーツ文化を変えた 34
ジャズとダンスのニッポン 4
シャルトル大聖堂 33
19世紀スペインにおける連邦主義と歴史認識 7
17世紀フランス文法家証言集Ⅴ 23
17世紀フランス文法家証言集Ⅵ 23
17世紀フランス文法家証言集Ⅶ 23
松陰とペリー 29
情報社会の伝統詩 26
縄文鼻曲がり仮面 6
昭和・平成・令和の大学生 3
初期シカゴ学派の人間生態学の展開 16
新課程 博物館学ハンドブック1 17
新課程 博物館学ハンドブック2 17
新課程 博物館学ハンドブック3 17
新版 労働者概念の再構成 12
新聞「泊園」 31
神話から神化へ 30
スイス観光業の近現代 8
スタンダールのオイコノミア 25
スピノザとフロイト 6
西教東漸と中日事情 29
西士(せいし)與近代中國：羅伯聃研究論集 29
政府－NPO関係の理論と動向 10
1930年代における日本の金融政策 13
戦後日本経済と政策金融 9
戦後日本の資本利益率格差 13
戦争と文学の交渉 30
『造洋飯書』の研究 33
続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた 34
ソーシャルワーク実践における社会資源の創出 15
存在・感情・政治 6

タ

〈体育会系女子〉のポリティクス 16
大学教育の国際化への対応 18
大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン 17
大学生の学びを育む学習環境のデザイン 17
大学生、福島を聴く 9
大学での学び 18
戦ひの記 インパール作戦 33
辰巳経世著作集 9
ダニエル・デフォー研究 26
食べ物の履歴書 19
逐条解説「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」 11
チロルの悲劇 26
ツーリズムの脱構築 34
天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料 30
東西学術研究と文化交渉 29
東南アジアの華人廟と文化交渉 29
東洋汽船と映画 7
「東洋道徳、西洋芸術」幕末日本への視座 2
〈時〉と〈鏡〉超越的覆蔵性の哲学 28
杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究 26

ナ

国際シンポジウム論文集 内藤湖南研究の最前線 30
国際シンポジウム論文集 内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程 30
内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編 32
内藤湖南の人脈と影響 33
謎解きとコミュニケーション 24
なにわの事もゆめの又ゆめ 7
南京官話資料集 33
西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究 10
日英仏 日本拳法の基本習得教書 21
日仏対訳 フランス医療機関におけるアート 21
日本台湾統治時代のジャンク型帆船資料 32
日本的リスクマネジメント理論の現代的意義 13
日本における近代中国学の始まり 25
日本の近世近代絵画と文化交渉 32

ハ

『拝客訓示』の研究 33
泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈 28
林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺 21
東アジア言語接触の研究 28

左手のための小作品集 25
平山省斎と岩瀬忠震 32
ビルダーボーゲンの研究 21
ファミリービジネスの事業承継と経営戦略 35
風景論 29
藤澤南岳日記 一 5
不透明社会の中の若者たち 15
フレデリック・テイラーとマネジメント思想 13
文化交渉学のパースペクティブ 28
米軍基地問題の基層と表層 11
北京官話資料8種「京華襍拾」 33
北京官話全編の研究（上巻） 32
北京官話全編の研究（中巻） 32
北京官話全編の研究（下巻） 32
ヘンリー・ジェイムズ短編選集 25
防災教育学の新機軸 18
法的思考のススメ 11
ポスト・コロナ禍時代のグローバル人材育成 18
ポスト・コロナ時代の留学生教育 18
ポスト・ソーシャル時代の福祉実践 16
ポピュリズムの現代 10

マ

my little abc book 26
聖心（みこころ）のイコノロジー 28
南フランスの文化・地域社会と産業 3
未来を切り拓く市民性教育 17
無生物主語他動詞文の日中対照研究 4
メディア スポーツ 20世紀 16
もう一つの内藤湖南像 7
モノ探し行動の心理学 2

ヤ

吉田松陰と佐久間象山 32

ラ

落着と実在 6
領域のフレーミング 22
両大戦間期の日英経済関係の諸側面 13

ワ

わかりやすい刑罰のはなし 11
笑いの力 15
笑いを学問する 15

欧文図書

From Medieval to Modern 28
Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective 9
Risk Management 13
The Cultural Interaction of East Asia Seas in the Early Modern 28

関西大学出版部
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL 06-6368-0238　FAX 06-6389-5162
E-mail　shuppan@ml.kandai.jp
www.kansai-u.ac.jp/Syppan/